

## 組立・施工説明書

### アーバンルーフⅡ

レギュラー／ワイド／ジャンボストロン  
グタイプ 50

### アーバンルーフⅡ

レギュラー／ワイド／ジャンボ  
ストロングタイプ 100

#### 《お願い》

商品の組み立て、施工に従事される方を対象とした説明書です。  
商品を長く安全にお使いいただくための、商品の組み立て方法、施工方法をまとめたものです。本説明書をよくお読みいただき、安全に正しく組み立て、施工を行ってください。

# はじめにお読みください

このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

- 本説明書は「アーバンルーフⅡ レギュラー/ワイド/ジャンボストロングタイプ50 アーバンルーフⅡ レギュラー/ワイド/ジャンボストロングタイプ100」の組み立て、施工について説明しています。
- 本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。
- 本説明書は、必ず組み立て、施工される方にお渡しください。お施主様向け取扱説明書は、必ずお施主様にお渡しください。

## 本説明書内の表記

### 警告／注意／お願い

- 商品の組み立て、施工をしていただくうえで、人身事故や物的損害を未然に防止するため、守っていただきたいこととして、下記のような警告表記をしています。内容をよくご理解のうえ、商品の組み立て、施工を行ってください。

表記	意味
 <b>警告</b>	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される
 <b>注意</b>	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が生じることが想定される
<b>お願い</b>	製品の取り扱いを誤った場合、人身への危害と財産への損害には至らないが、製品自体の損傷や不具合が生じると思われる場合や、操作・使用・お手入れ方法などの注意喚起情報

### その他の表記

表記	意味
 <b>改訂</b>	商品や作業の変更点
	作業するうえで必要な情報
	知っておくと便利な情報
	必ずシーリングをする箇所
	電動ドライバーの使用禁止
	電気工事士の資格が必要な作業

- 一部を除き、本説明書内の単位は「mm」で示しています。

# もくじ

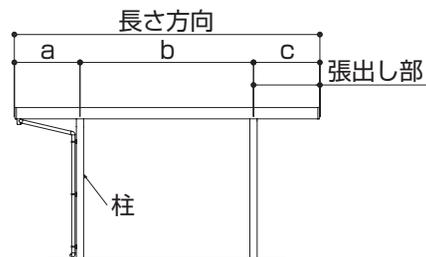
---

もくじ	P.1
安全にお取り扱いいただくために	P.2
<b>作業前の確認</b>	<b>P.4</b>
同梱一覧	P.4
全体構成図	P.10
施工の流れ	P.11
<b>基礎工事の準備</b>	<b>P.12</b>
墨出し	P.12
基礎の掘削	P.13
<b>本体フレームの施工</b>	<b>P.15</b>
柱の切断・加工	P.15
梁の部品付け	P.17
柱の施工	P.23
柱・梁の取り付け	P.24
柱の仮固定	P.25
<b>屋根部の施工（基礎工事前）</b>	<b>P.26</b>
側枠・垂木・補助垂木の加工、部品付け（柱を移動する場合）	P.26
側枠・垂木・補助垂木の加工（奥行切り詰めする場合）	P.26
側枠・垂木の取り付け	P.27
寸法確認・調整	P.27
前枠・後枠の加工（間口切り詰めする場合）	P.28
前枠・後枠の連結（3台用の場合）	P.29
前枠・後枠の取り付け	P.31
柱・梁取り付けボルトの本締め	P.32
<b>基礎工事</b>	<b>P.33</b>
柱の水抜き穴加工	P.33
柱の寸法確認	P.33
基礎コンクリートの打ち込み	P.34
<b>屋根部の施工（基礎養生後）</b>	<b>P.35</b>
補助垂木・屋根ふき材・屋根ふき材押えの取り付け	P.35
雪止め材の取り付け	P.41
雨樋の施工	P.45
<b>寸法図</b>	<b>P.46</b>
アーバンルーフⅡ レギュラーストロングタイプ 50	P.46
アーバンルーフⅡ ワイドstroングタイプ 50	P.47
アーバンルーフⅡ ジャンボstroングタイプ 50	P.48
アーバンルーフⅡ レギュラーストロングタイプ 100	P.49
アーバンルーフⅡ ワイドstroングタイプ 100	P.50
アーバンルーフⅡ ジャンボstroングタイプ 100	P.51

# 安全にお取り扱いいただくために

## ⚠ 注意

- 本説明書記載以外の加工、組み立て、施工など、改造を行わないでください。  
性能に影響を及ぼし、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 組み立て、施工の際は、必ず同梱のねじを使用してください。  
異なるねじを使用すると、ねじの折れ、強度低下、ゆるみなどにより、部材の落下や漏水など思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 組み立て、施工の際は、ねじをまっすぐに最後まで締め付けてください。  
締め付け不良は部材の落下や漏水など、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 商品が破損、変形およびキズがつかないように、取り扱いには十分注意してください。  
破損、変形した商品を取り付けた場合、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 切り詰めを行う際は、おおむね規格サイズの長さ比率(a:b:a)になる位置に柱移動を行ってください。  
奥行方向張り出し部のみ切り詰めると、カーポート屋根部の荷重バランスが崩れ、積雪や暴風時に商品が破損し思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



- 給湯器や暖房機などの熱排気が商品内にこもるような場所に施工しないでください。  
排気による中毒や塗装劣化・ハクリのおそれがあります。
- シーリングは説明書に従って必ず行ってください。  
漏水につながるおそれがあります。
- ポリカーボネート板へのシーリングは、必ず脱アルコール形のシーリング材を使用してください  
(別途手配品)。  
ポリカーボネート板の接着不良やひび割れにより、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

## お願い

- アーバンルーフⅡ ストロングタイプ50/ワイドストロングタイプ50/ジャンボストロングタイプ50の耐積雪性能は1500N/m<sup>2</sup> (153kgf/m<sup>2</sup>) (積雪量に換算すると50cm相当)、アーバンルーフⅡ ストロングタイプ100/ワイドストロングタイプ100/ジャンボストロングタイプ100の耐積雪性能は3000N/m<sup>2</sup> (306kgf/m<sup>2</sup>) (積雪量に換算すると100cm相当)、です。積雪量が50cm、100cmを超える前に雪おろしが必要であることを施主様に説明してください。
- 商品の屋根の上にのらないでください。  
商品が破損したり、転落によりけがをしたりするおそれがあります。
- ねじに塗布されているコーティング剤が皮膚に付着した場合は、石けんでよく洗ってください。皮膚に直接接触することにより、かぶれが起こるおそれがあります。  
口に入ってしまった場合は、すぐに吐き出し医師の診断を受けてください。
- 建物の屋根雪が直接落ちる場所には、取り付けしないでください。  
商品が破損し思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 清掃が必要な場合は、中性洗剤 (1~2%の水溶液) を使用してください。  
(アクリル・ポリカーボネート板は0.5%の水溶液)  
酸・アルカリ・塩素系の洗剤液や有機溶剤を使用すると、商品の腐食につながるおそれがあります。
- 塩素系薬品 (次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤など) を使用した場合、必ず清潔な布や紙で水拭きしてください。  
表面に付着したまま放置されると、変色するおそれがあります。

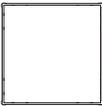
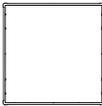
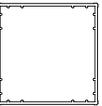


- 作業を行う際は、作業に適した服装で、適切な保護具 (保護帽、安全带、目・耳・手・足の保護具) を着用し、安全に作業を行ってください。
- 作業場所の整理整頓を行うとともに、照度などの安全作業ができる作業環境の確保を行ってください。
- 高所作業では、安全確保や倒壊防止などの安全作業のための必要な措置を行ってください。
- 商品の運搬、組み立て、取り付けは相応の人数で行ってください。
- 柱や梁の施工に関しては、必ず小型移動式クレーンやチェーンブロックなど適切な揚重機械を用いて施工してください。
- 商品の保管は、必ず室内でしてください。  
やむを得ず屋外に置く場合は、湿気の無い日陰で平らな場所に平置きにして、防水シートをかけてください。
- 施工前に同梱されている部材および部品を確認してください。

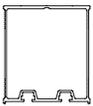
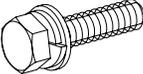
# 作業前の確認

## 同梱一覧

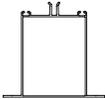
### ■柱

姿 図				
品 名	柱	柱	柱	柱
品 番	<b>3K-83370</b>	<b>3K-83371</b>	<b>3K-83372</b>	<b>3K-83373</b>
JCD-(DS)A##A#V	2	—	—	—
JCD-(DS)A##B#V	—	2	—	—
JCD-(DS)A28B#-1XB	—	1	—	—
JCD-(DS)A##C#V	—	—	2	—
JCD-(DS)A28C#-1XB	—	—	1	—
JCD-(DS)A28D#-1XB	—	—	—	1

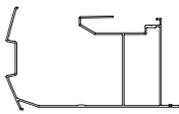
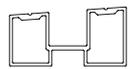
### ■梁

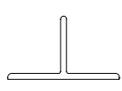
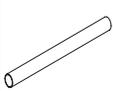
姿 図							
品 名	梁	梁	梁	梁	梁連結力バー (梁下部用)	座金組込 六角ボルト (M10×40)	トラス タッピングねじ (φ5×16)
品 番	<b>3K-83375</b>	<b>3K-83376</b>	<b>3K-83377</b>	<b>3K-83378</b>	<b>7K-10878</b>	<b>7K-11348</b>	<b>ET-5016</b>
JCD-(DS)SB30AXB	1	—	—	—	—	—	—
JCD-(DS)WB##BXB	—	1	—	—	—	—	—
JCD-(DS)WB##CXB	—	—	1	—	—	—	—
JCD-(DS)TB60DXB	—	—	—	1	—	—	—
JCD-(DS)TB18DXB	—	—	—	1	1	22	26
備 考	—	—	—	—	—	梁組み立て用	梁連結金具・ 梁連結力バー (梁下部用) 取り付け用

### ■側枠・垂木

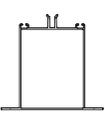
姿 図				
品 名	側枠	屋根ふき材押え	垂木	屋根ふき材押え
品 番	<b>3K-96208</b>	<b>2K-82267</b>	<b>3K-96209</b>	<b>2K-82258</b>
JCD-(DS)WC5##V	2	2	3	3
備 考	—	側枠用	—	垂木用

■前後枠

姿 図									
品 名	前枠			後枠			垂木取付材		
品 番	3K-96206			3K-96207			3K-96205		
JCD-(DS)#D##NV	1	-	-	1	-	-	2	-	-
JCD-(DS)#D##SV	1	-	-	1	-	-	3	-	-
JCD-(DS)#D##LV	1	-	-	1	-	-	4	-	-
JCD-(DS)TD78NV	-	1	1	-	1	1	-	2	2
JCD-(DS)TD78SV	-	1	1	-	1	1	-	4	4
備 考	-	3台用(長)	3台用(短)	-	3台用(長)	3台用(短)	-	3台用(長)	3台用(短)

姿 図					
品 名	雪止め材			たて樋	よび樋
品 番	3K-86702			2K-38903	2K-38903
JCD-(DS)#D##NV	1	-	-	1	1
JCD-(DS)#D##SV	1	-	-	1	1
JCD-(DS)#D##LV	1	-	-	1	1
JCD-(DS)TD78NV	-	2	1	2	2
JCD-(DS)TD78SV	-	2	1	2	2
備 考	-	3台用 (側枠側)	3台用 (中央)	L=3000	L=1300

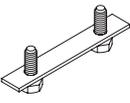
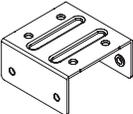
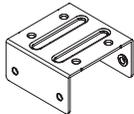
■垂木

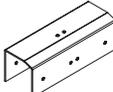
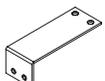
姿 図		
品 名	垂木	屋根ふき材押え
品 番	3K-96209	2K-82258
JCD-(DS)WE5##-1V	1	1
JCD-(DS)WE5##-4V	4	4
JCD-(DS)WE5##-5V	5	5
備 考	-	垂木用

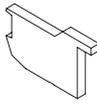
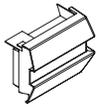
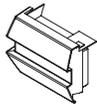
■補助垂木

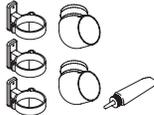
姿 図	
品 名	補助垂木
品 番	3K-96210
JCD-(DS)WH5##-4V	4
JCD-(DS)WH5##-5V	5

■部品箱

姿 図						
品 名	柱アンカー	柱・梁連結ボルト	柱・梁連結金具	柱・梁連結金具	前枠連結金具	前枠連結金具
品 番	<b>K-11711</b>	<b>7K-10870</b>	<b>7K-10871</b>	<b>7K-10872</b>	<b>4K-17642</b>	<b>6K-13081</b>
JCD-(DS)SG30HNV	4	8	4	—	—	—
JCD-(DS)WG54HNV	4	8	4	—	—	—
JCD-(DS)WG60HNV	4	8	4	—	—	—
JCD-(DS)TG78HNV	4	8	4	—	1	1
JCD-(DS)TG78LNV	4	8	—	4	1	1
JCD-(DS)SG30HSV	6	12	6	—	—	—
JCD-(DS)WG54HSV	6	12	6	—	—	—
JCD-(DS)WG54LSV	6	12	—	6	—	—
JCD-(DS)WG60HSV	6	12	6	—	—	—
JCD-(DS)WG60LSV	6	12	—	6	—	—
JCD-(DS)TG78HSV	8	16	8	—	1	1
JCD-(DS)TG78LSV	8	16	—	8	1	1
JCD-(DS)SG30HLV	8	16	8	—	—	—
JCD-(DS)WG54HLV	8	16	8	—	—	—
JCD-(DS)WG54LLV	8	16	—	8	—	—
JCD-(DS)WG60HLV	8	16	8	—	—	—
JCD-(DS)WG60LLV	8	16	—	8	—	—

姿 図						
品 名	後枠連結材	前枠連結補強材	裏板	屋根ふき材補強部品	梁キャップ	梁キャップ
品 番	<b>6K-13082</b>	<b>6K-13505</b>	<b>5K-14325</b>	<b>5K-15483</b>	<b>3K-32732</b>	<b>3K-32733</b>
JCD-(DS)SG30HNV	—	—	—	6	4	—
JCD-(DS)WG54HNV	—	—	—	6	—	4
JCD-(DS)WG60HNV	—	—	—	6	—	4
JCD-(DS)TG78HNV	1	1	1	6	—	—
JCD-(DS)TG78LNV	1	1	1	6	—	—
JCD-(DS)SG30HSV	—	—	—	6	6	—
JCD-(DS)WG54HSV	—	—	—	6	—	6
JCD-(DS)WG54LSV	—	—	—	6	—	6
JCD-(DS)WG60HSV	—	—	—	6	—	6
JCD-(DS)WG60LSV	—	—	—	6	—	6
JCD-(DS)TG78HSV	1	1	1	6	—	—
JCD-(DS)TG78LSV	1	1	1	6	—	—
JCD-(DS)SG30HLV	—	—	—	6	8	—
JCD-(DS)WG54HLV	—	—	—	6	—	8
JCD-(DS)WG54LLV	—	—	—	6	—	8
JCD-(DS)WG60HLV	—	—	—	6	—	8
JCD-(DS)WG60LLV	—	—	—	6	—	8

姿 図						
品 名	梁キャップ	梁連結カバ-A	梁連結カバ-B	パッキン	前枠キャップ(L)	前枠キャップ(R)
品 番	<b>3K-32734</b>	<b>3K-32428</b>	<b>3K-32429</b>	<b>3K-21199</b>	<b>2K-39692</b>	<b>2K-39693</b>
JCD-(DS)SG30HNV	-	-	-	2	1	1
JCD-(DS)WG54HNV	-	-	-	2	1	1
JCD-(DS)WG60HNV	-	-	-	2	1	1
JCD-(DS)TG78HNV	4	2	2	2	1	1
JCD-(DS)TG78LNV	4	2	2	2	1	1
JCD-(DS)SG30HSV	-	-	-	2	1	1
JCD-(DS)WG54HSV	-	-	-	2	1	1
JCD-(DS)WG54LSV	-	-	-	2	1	1
JCD-(DS)WG60HSV	-	-	-	2	1	1
JCD-(DS)WG60LSV	-	-	-	2	1	1
JCD-(DS)TG78HSV	8	4	4	2	1	1
JCD-(DS)TG78LSV	8	4	4	2	1	1
JCD-(DS)SG30HLV	-	-	-	2	1	1
JCD-(DS)WG54HLV	-	-	-	2	1	1
JCD-(DS)WG54LLV	-	-	-	2	1	1
JCD-(DS)WG60HLV	-	-	-	2	1	1
JCD-(DS)WG60LLV	-	-	-	2	1	1

姿 図						
品 名	後枠キャップ(L)	後枠キャップ(R)	ドレイン	穴隠し	排水部品	ゴミ出しエルボ
品 番	<b>2K-39694</b>	<b>2K-39695</b>	<b>K-36979</b>	<b>K-36980</b>	<b>EA-F1N</b>	<b>2K-38866</b>
JCD-(DS)SG30HNV	1	1	1	1	1	1
JCD-(DS)WG54HNV	1	1	1	1	1	1
JCD-(DS)WG60HNV	1	1	1	1	1	1
JCD-(DS)TG78HNV	1	1	2	-	2	2
JCD-(DS)TG78LNV	1	1	2	-	2	2
JCD-(DS)SG30HSV	1	1	1	1	1	1
JCD-(DS)WG54HSV	1	1	1	1	1	1
JCD-(DS)WG54LSV	1	1	1	1	1	1
JCD-(DS)WG60HSV	1	1	1	1	1	1
JCD-(DS)WG60LSV	1	1	1	1	1	1
JCD-(DS)TG78HSV	1	1	2	-	2	2
JCD-(DS)TG78LSV	1	1	2	-	2	2
JCD-(DS)SG30HLV	1	1	1	1	1	1
JCD-(DS)WG54HLV	1	1	1	1	1	1
JCD-(DS)WG54LLV	1	1	1	1	1	1
JCD-(DS)WG60HLV	1	1	1	1	1	1
JCD-(DS)WG60LLV	1	1	1	1	1	1

作業前の確認

姿 図						
品 名	雨水受け	座金組込 六角ボルト (M10×20)	スプリング ワッシャー (M10用)	六角ナット (M10用)	トラス タッピングねじ (φ5×16)	トラス タッピングねじ (φ5×10)
品 番	<b>3K-21037</b>	<b>3K-18992</b>	<b>SW-10</b>	<b>N-M10</b>	<b>ET-5016</b>	<b>ET-5010</b>
JCD-(DS)SG30HNV	4	16	16	16	40	44
JCD-(DS)WG54HNV	4	16	16	16	72	76
JCD-(DS)WG60HNV	4	16	16	16	80	84
JCD-(DS)TG78HNV	4	16	16	16	104	108
JCD-(DS)TG78LNV	4	16	16	16	104	108
JCD-(DS)SG30HSV	6	24	24	24	60	66
JCD-(DS)WG54HSV	6	24	24	24	108	114
JCD-(DS)WG54LSV	6	24	24	24	108	114
JCD-(DS)WG60HSV	6	24	24	24	120	126
JCD-(DS)WG60LSV	6	24	24	24	120	126
JCD-(DS)TG78HSV	8	32	32	32	208	216
JCD-(DS)TG78LSV	8	32	32	32	208	216
JCD-(DS)SG30HLV	8	32	32	32	80	88
JCD-(DS)WG54HLV	8	32	32	32	144	152
JCD-(DS)WG54LLV	8	32	32	32	144	152
JCD-(DS)WG60HLV	8	32	32	32	160	168
JCD-(DS)WG60LLV	8	32	32	32	160	168
備 考	-	-	-	-	垂木取付材 取り付け用	側枠・垂木・補助 垂木取り付け用

姿 図						
品 名	トラス タッピングねじ (φ5×10)	トラス タッピングねじ (φ5×10)	トラス タッピングねじ (φ5×10)	トラス タッピングねじ (φ5×10)	トラス タッピングねじ (φ5×10)	トラス タッピングねじ (φ5×10)
品 番	<b>ET-5010</b>	<b>ET-5010</b>	<b>ET-5010</b>	<b>ET-5010</b>	<b>ET-5010</b>	<b>ET-5010</b>
JCD-(DS)SG30HNV	4	30	162	4	-	-
JCD-(DS)WG54HNV	4	54	270	4	-	-
JCD-(DS)WG60HNV	4	60	297	4	-	-
JCD-(DS)TG78HNV	4	78	378	4	18	8
JCD-(DS)TG78LNV	4	78	378	4	18	8
JCD-(DS)SG30HSV	4	30	162	4	-	-
JCD-(DS)WG54HSV	4	54	270	4	-	-
JCD-(DS)WG54LSV	4	54	270	4	-	-
JCD-(DS)WG60HSV	4	60	297	4	-	-
JCD-(DS)WG60LSV	4	60	297	4	-	-
JCD-(DS)TG78HSV	4	78	378	4	18	8
JCD-(DS)TG78LSV	4	78	378	4	18	8
JCD-(DS)SG30HLV	4	30	162	4	-	-
JCD-(DS)WG54HLV	4	54	270	4	-	-
JCD-(DS)WG54LLV	4	54	270	4	-	-
JCD-(DS)WG60HLV	4	60	297	4	-	-
JCD-(DS)WG60LLV	4	60	297	4	-	-
備 考	キャップ 取り付け用	前後枠 取り付け用	屋根ふき材 押え取り付け用	側枠・前後枠 下部取り付け用	前後枠連結用	前後枠溝部連結用

姿 図						
品 名	トラス タッピングねじ (φ5×10)	なべドリルねじ (φ4×19) (コーティング剤塗布)	なべドリルねじ (φ4×19) (コーティング剤塗布)	なべドリルねじ (φ4×19) (コーティング剤塗布)	トラスタッピン ねじ(φ5×10) (ゴムワッシャー付き)	小トラス タッピングねじ (φ5×12)
品 番	<b>ET-5010</b>	<b>DN-4019B-SC</b>	<b>DN-4019B-SC</b>	<b>DN-4019B-SC</b>	<b>5K-14711</b>	<b>EM-5012</b>
JCD-(DS)SG30HNV	2	8	6	—	4	12
JCD-(DS)WG54HNV	2	8	6	—	4	20
JCD-(DS)WG60HNV	2	8	6	—	4	22
JCD-(DS)TG78HNV	2	8	12	4	4	32
JCD-(DS)TG78LNV	2	8	12	4	4	32
JCD-(DS)SG30HSV	2	12	6	—	4	12
JCD-(DS)WG54HSV	2	12	6	—	4	20
JCD-(DS)WG54LSV	2	12	6	—	4	20
JCD-(DS)WG60HSV	2	12	6	—	4	22
JCD-(DS)WG60LSV	2	12	6	—	4	22
JCD-(DS)TG78HSV	2	16	12	8	4	32
JCD-(DS)TG78LSV	2	16	12	8	4	32
JCD-(DS)SG30HLV	2	16	6	—	4	12
JCD-(DS)WG54HLV	2	16	6	—	4	20
JCD-(DS)WG54LLV	2	16	6	—	4	20
JCD-(DS)WG60HLV	2	16	6	—	4	22
JCD-(DS)WG60LLV	2	16	6	—	4	22
備 考	予備	梁キャップ 取り付け用	雨樋セット 取り付け用	梁連結カバー 取り付け用	ドレイン・穴隠し 取り付け用	雪止め材 取り付け用

姿 図		—
品 名	穴塞ぎシール	組立・施工説明書
品 番	<b>5K-14711</b>	—
JCD-(DS)SG30HNV	44	1
JCD-(DS)WG54HNV	76	1
JCD-(DS)WG60HNV	84	1
JCD-(DS)TG78HNV	108	1
JCD-(DS)TG78LNV	108	1
JCD-(DS)SG30HSV	66	1
JCD-(DS)WG54HSV	114	1
JCD-(DS)WG54LSV	114	1
JCD-(DS)WG60HSV	126	1
JCD-(DS)WG60LSV	126	1
JCD-(DS)TG78HSV	216	1
JCD-(DS)TG78LSV	216	1
JCD-(DS)SG30HLV	88	1
JCD-(DS)WG54HLV	152	1
JCD-(DS)WG54LLV	152	1
JCD-(DS)WG60HLV	168	1
JCD-(DS)WG60LLV	168	1
備 考	柱移動用	—

■屋根ふき材補強部品（オプション）

姿 図	
品 名	屋根ふき材補強部品
品 番	<b>5K-15483</b>
JCD-(DS)K2-9	9
JCD-(DS)K2-18	18
JCD-(DS)K2-21	21
JCD-(DS)K2-24	24
JCD-(DS)K2-33	33
備 考	—

■屋根ふき材ユニット

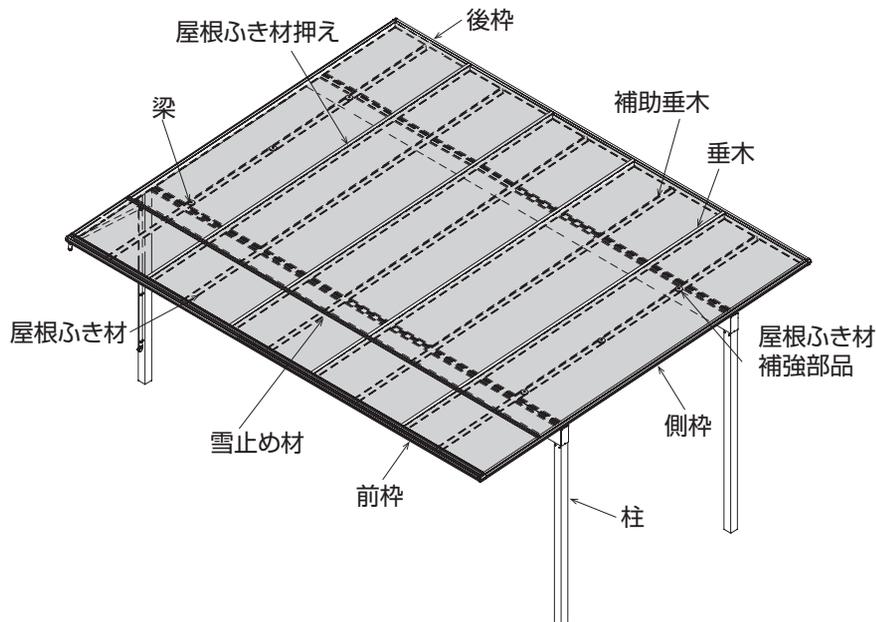
ユニット記号	サイズ		数量
	長さ	幅	
JCD-(DS)WF5106BV-1\$\$	4999	590	1
JCD-(DS)WF5406BV-1\$\$	5348		
JCD-(DS)WF5706BV-1\$\$	5717		
JCD-(DS)WF5106BV-2\$\$	4999	590	2
JCD-(DS)WF5406BV-2\$\$	5348		
JCD-(DS)WF5706BV-2\$\$	5717		

• \$\$は屋根ふき材の種類を表します。  
屋根ふき材の種類により、屋根ふき材の末尾の記号が異なります。

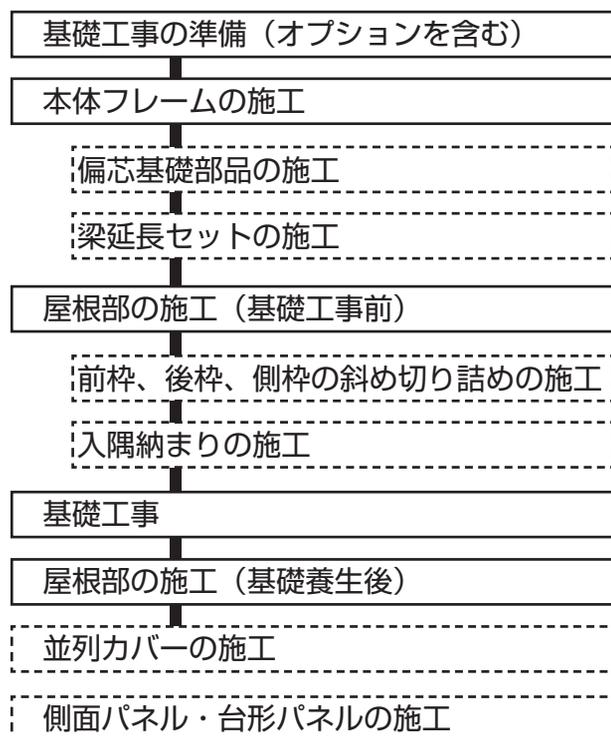
屋根材種類	色	記号
一般ポリカ	ブルースモーク	2A
	ブラウンスモーク	2C
	クリアマット	2F
熱線遮断ポリカ	熱線ブルースモークマット	3B
	熱線クリアマット	3J

全体構成図

• 図はアーバンルーフⅡ ワイドストロングタイプ50を示しています。



## 施工の流れ



□□□□は、各同梱の説明書を参照してください。

# 基礎工事の準備

## ⚠ 注意

- 給排水配管、ガス管などの地下埋設物に干渉しないよう掘削時に注意してください。思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋め込み深さを確保してください。商品が倒壊するおそれがあります。
- 基礎底部には割栗石、砂利または碎石を敷き、アルミ柱内に入った水や結露水が地盤に浸透するようにしてください。水が留まると柱の凍結破損や異常腐食につながるおそれがあります。
- 基礎寸法は指定寸法以上で施工してください。地盤の支持力が得られず、商品の沈下や風による転倒で、外壁などの損傷につながるおそれがあります。
- 基礎の根入れ深さは凍結深度より深くしてください。地面の水分が凍る過程で商品が押し上げられ、外壁などの損傷につながるおそれがあります。

## 墨出し

- 1 寸法図を参考に、墨出しを行ってください。「寸法図 (→P.46) 参照」

## 基礎の掘削



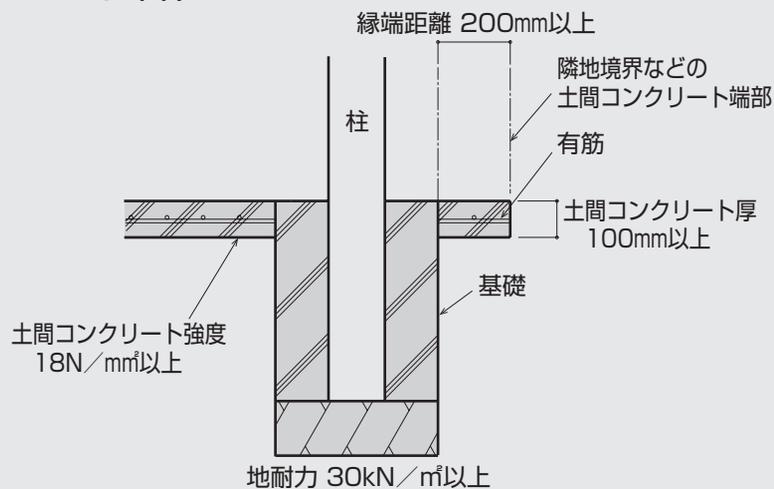
- 基礎は次の4種類があります。
  - 独立基礎
  - 土間コンクリート考慮基礎
  - 土間コンクリート同時施工基礎

### 独立基礎、土間コンクリート考慮基礎

- 1 基礎寸法表、寸法図を参考に、柱の基礎穴をあけてください。  
「寸法図（→P.46）参照」



- 「独立基礎」と「土間コンクリート考慮基礎」で基礎サイズが異なります。
- **「土間コンクリート考慮基礎」の場合** 下記条件を満たす必要があります。
  - 土間コンクリート条件

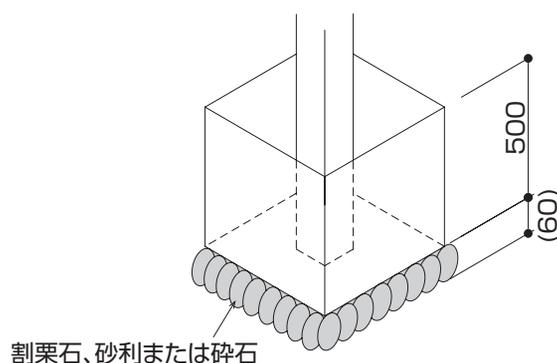


- 2 水勾配を付けるため、各穴の深さを調整してください。「柱の切断・加工（→P.15）参照」

- 3 基礎部に割栗石、砂利または碎石を敷き均し、突き固めてください。



- 柱下部にプレートなどを配置して柱高さを調整する場合は、必ず水が抜けるように排水穴を設けてください。



## 土間コンクリート同時施工基礎

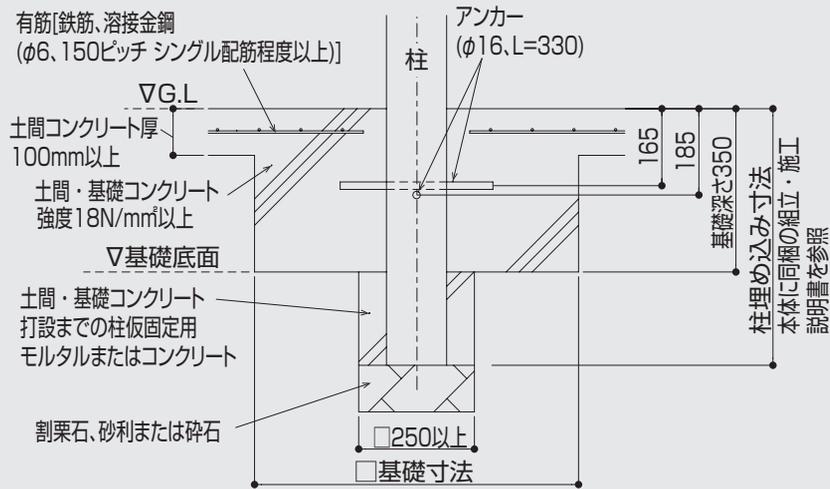
### ⚠ 注意

- 土間および基礎のコンクリートは必ず、同時打設一体化してください。  
別々に打設するとコンクリートが損傷し、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

### 1 基礎寸法表、寸法図を参考に、柱の基礎穴をあけてください。 「寸法図（→P.46）参照」

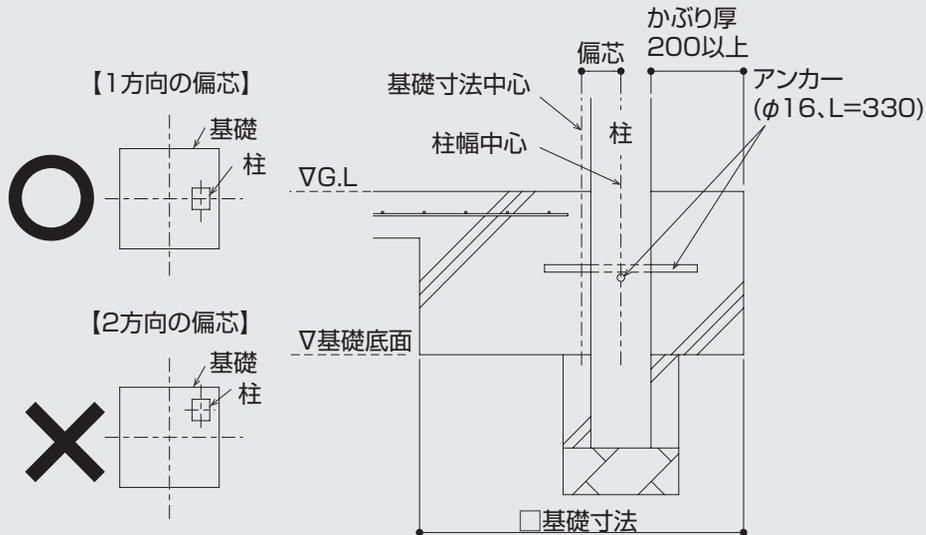


- 下記条件を満たす必要があります。  
地耐力は30kN/m<sup>2</sup>以上必要です。

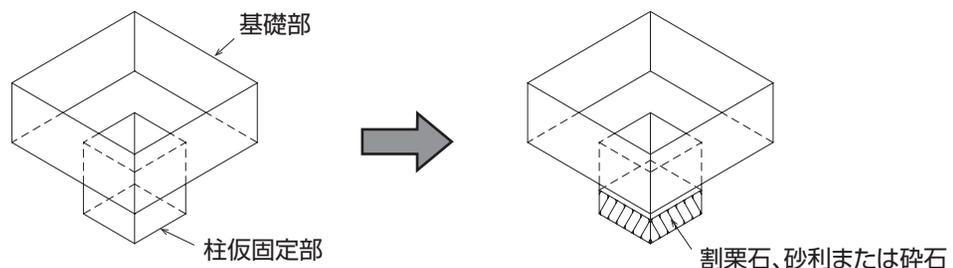


### ● 柱を偏芯させる場合

偏芯は1方向のみ可能です。



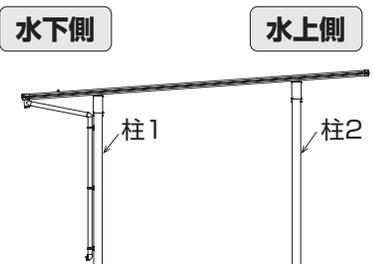
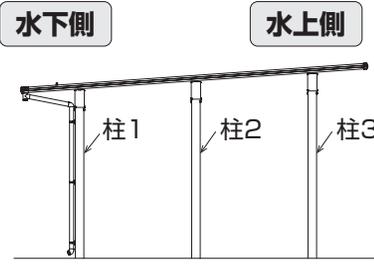
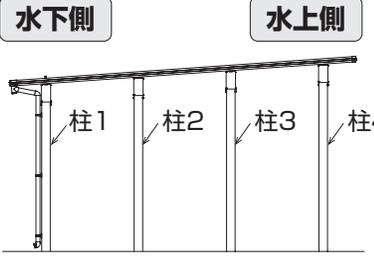
### 2 基礎部に割栗石、砂利または碎石を敷き均し、突き固めてください。



# 本体フレームの施工

## 柱の切断・加工

1 柱位置にあわせて、柱の切断寸法 (A) を確認してください。(埋め込み深さ500mmの場合)

側面から見た柱本数	姿図	柱の切断寸法(A)												
		高さ 呼称 H	呼称奥行L											
			51				54				57			
柱1	柱2	柱3	柱4	柱1	柱2	柱3	柱4	柱1	柱2	柱3	柱4			
2本		24 25	315	112	-	-	315	98	-	-	315	84	-	-
		28	350	147	-	-	350	133	-	-	350	119	-	-
3本		24 25	315	196	77	-	315	182	49	-	315	175	35	-
		28	350	231	112	-	350	217	84	-	350	210	70	-
4本		24 25	315	221	126	32	315	214	112	11	315	210	105	0
		28	350	256	161	67	350	249	147	46	350	245	140	35

## 2 柱を切断してください。



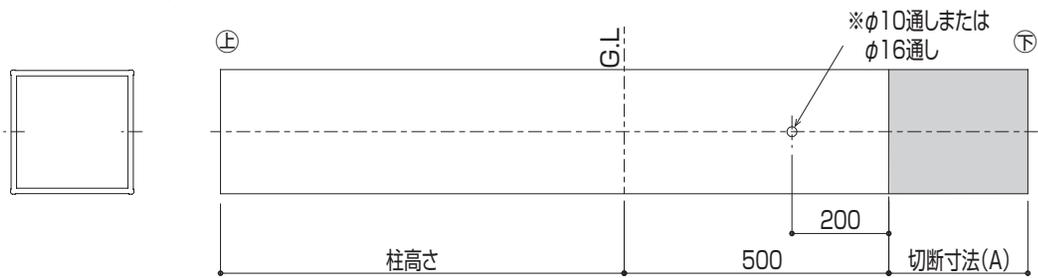
- 埋め込み深さは、500mm以上を確保してください。
- 柱を切断しない場合は、柱の埋め込みを深くしてください。
- 柱を移動した場合は、移動量にあわせて切断寸法を調整してください。

### 柱を切断し、アンカー用の穴を失った場合

#### 独立基礎・土間コンクリート考慮基礎の場合

① 柱に穴加工( $\phi 10$ 通しまたは $\phi 16$ 通し)してください。

● アンカー1本

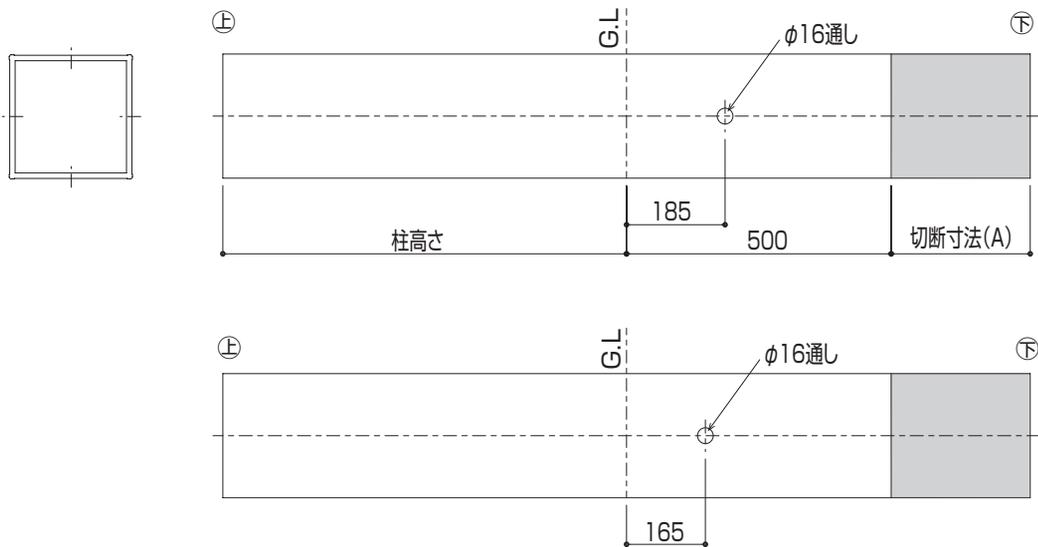


※失ったアンカー用の穴と同じ穴径で加工してください。  
柱の肉厚によって穴径が異なります。

#### 土間コンクリート同時施工基礎の場合

① 柱に穴加工( $\phi 16$ 通し)してください。

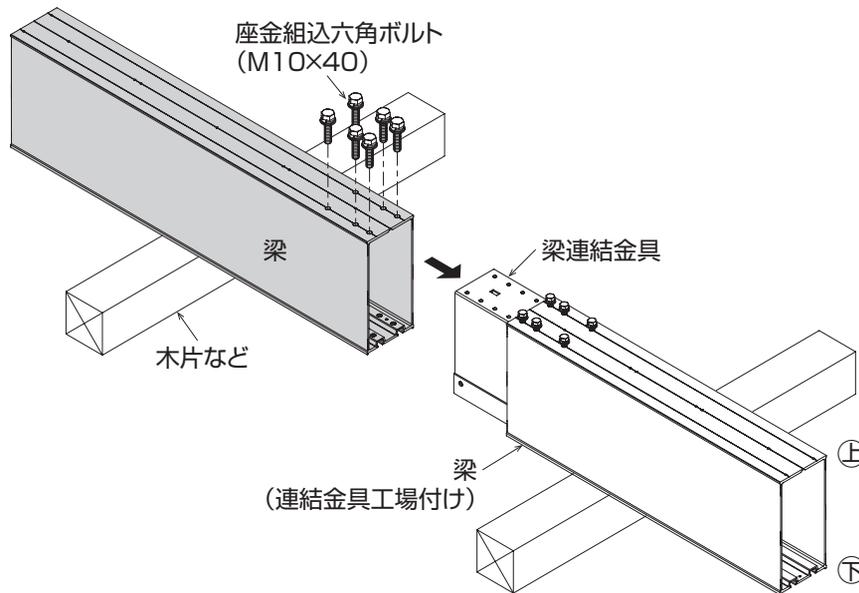
● アンカー2本



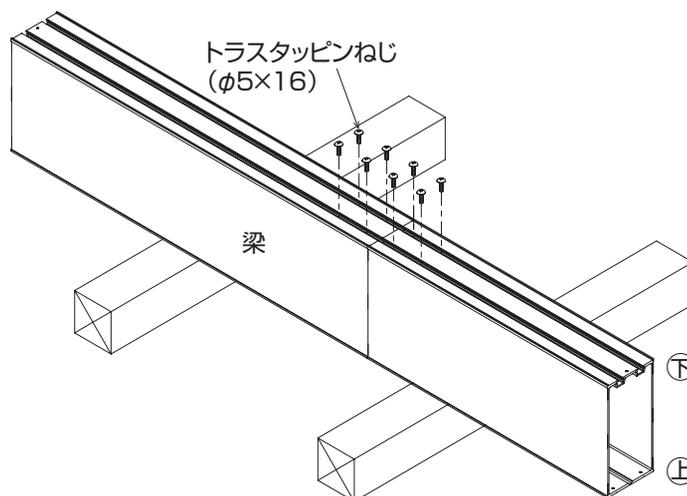
## 梁の部品付け

### 1 3台用の場合

- ① 梁を梁（梁連結金具工場付け）に連結し、梁上部を仮固定してください。



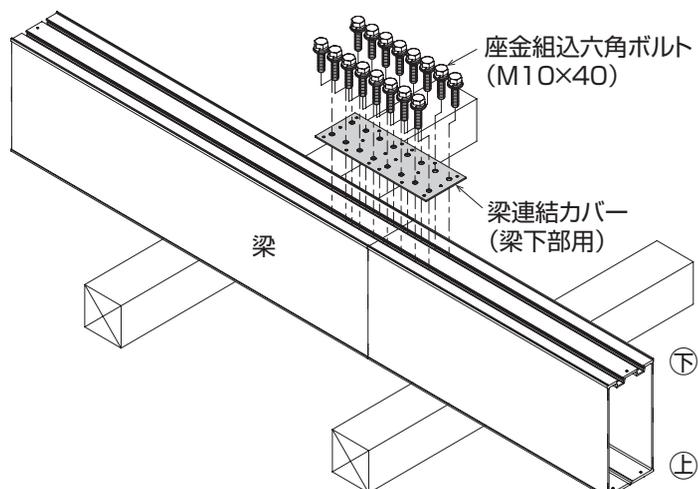
- ② 梁下部を固定してください。



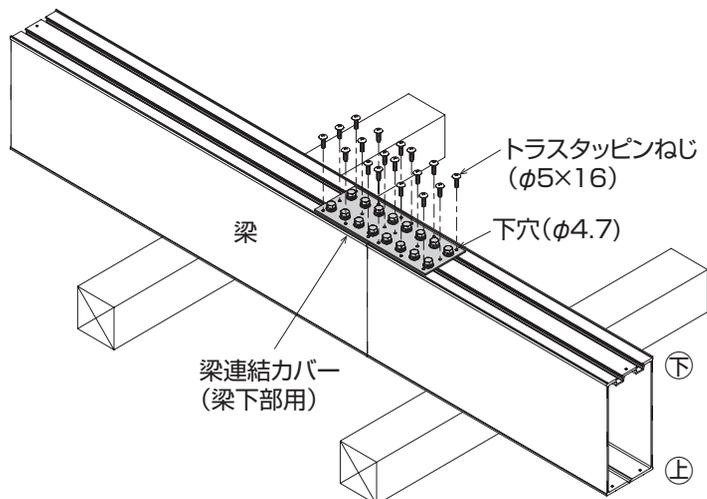
- ③ 梁連結カバー（梁下部用）を連結部に取り付けてください。



- 各ボルトは、対角均等に締め付けることで連結部のズレを抑制できます。



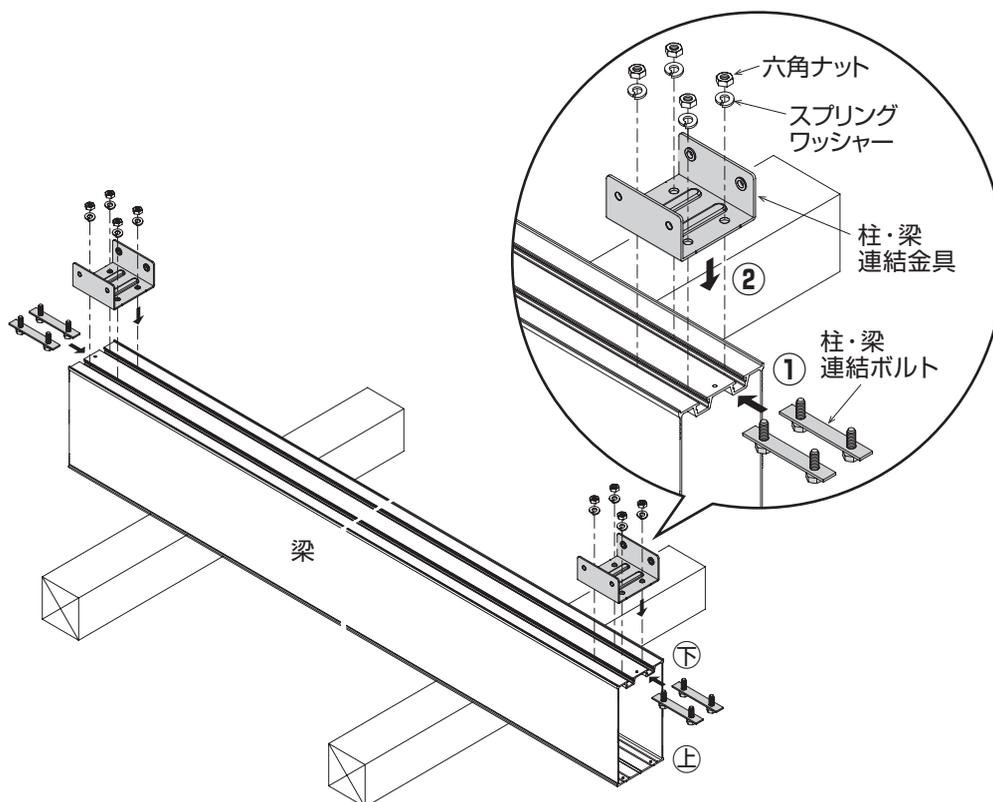
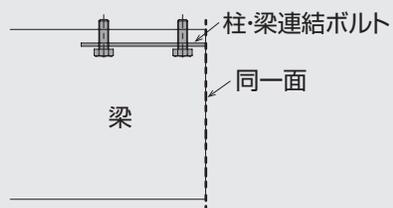
- ④ 現合で下穴 (φ4.7) を梁にあけてください。
- ⑤ 梁連結カバー (梁下部用) を梁連結部に固定してください。



**2** 柱・梁連結ボルトを挿入し、柱・梁連結金具を梁に取り付けてください。

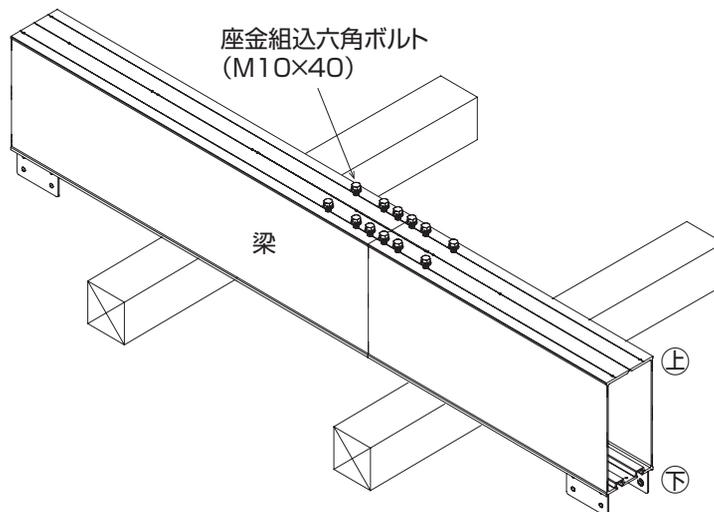


- 柱・梁連結ボルトは梁端部と同一面にしてください。



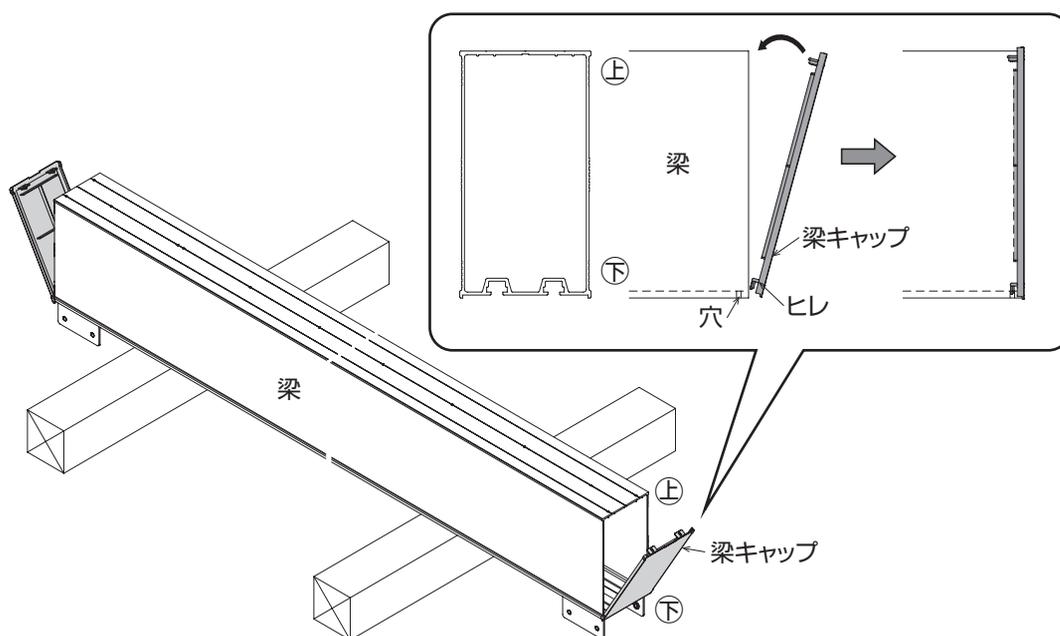
### 3 3台用の場合

梁上部（連結部）を本固定してください。



4 梁キャップを梁に取り付けてください。

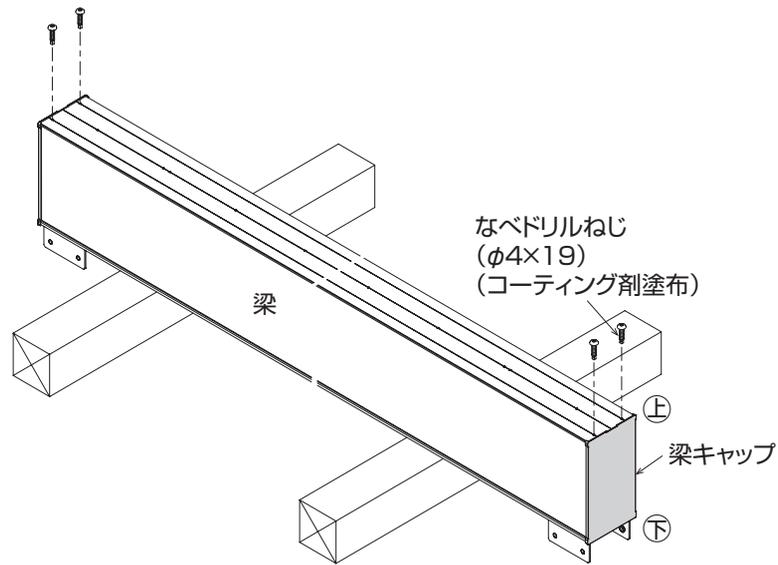
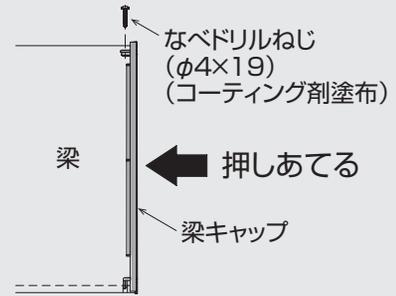
- ① 下部のヒレを梁の穴に挿入してください。
- ② 梁キャップを梁に押しあててください。



③ 梁キャップをねじで固定してください。



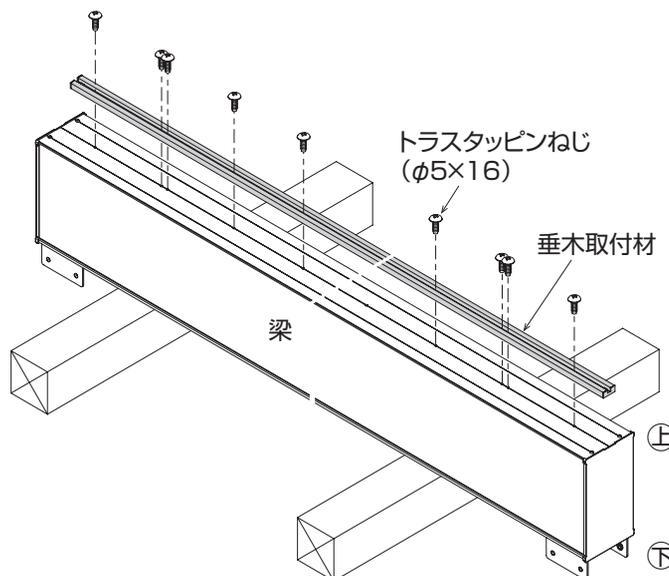
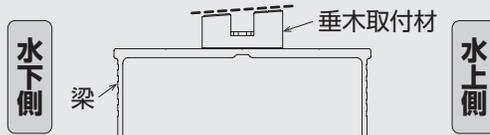
- すき間ができないように、梁キャップを梁に押しあてながら固定してください。



5 垂木取付材を梁に取り付けてください。

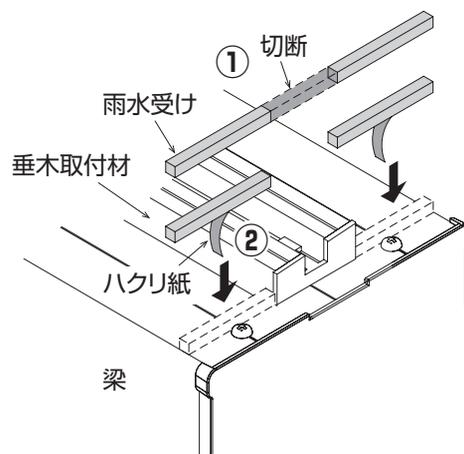


- 垂木取付材には向きがあります。水上側に上がり勾配がつくように全て向きをあわせて取り付けてください。

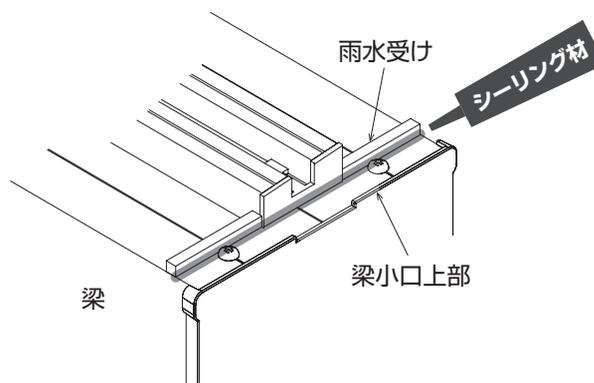


**6** 雨水受けを梁に貼り付けてください。

- ① 雨水受けを垂木取付材の側面と梁の側面にあわせて切断してください。
- ② 雨水受けのハクリ紙をはがし、梁に貼り付けてください。

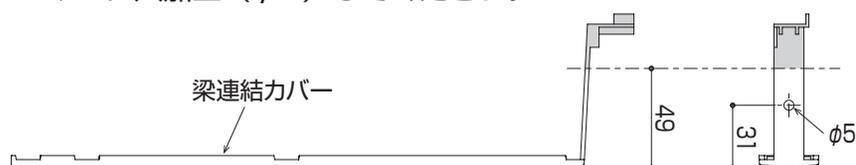


**7** 梁と雨水受けの取り付け箇所をシーリングしてください。

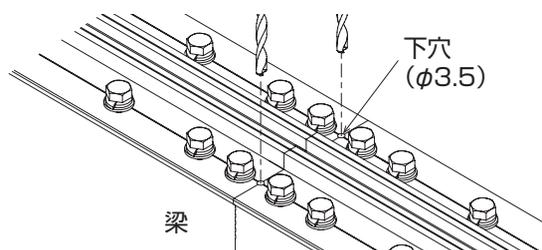


**8** **3台用の場合**

- ① 梁連結カバーA、Bを切断してください。
- ② 梁連結カバーA、Bに穴加工 ( $\phi 5$ ) してください。



- ③ 梁に下穴 ( $\phi 3.5$ ) をあけてください。
- ④ 削りくずを除去してください。

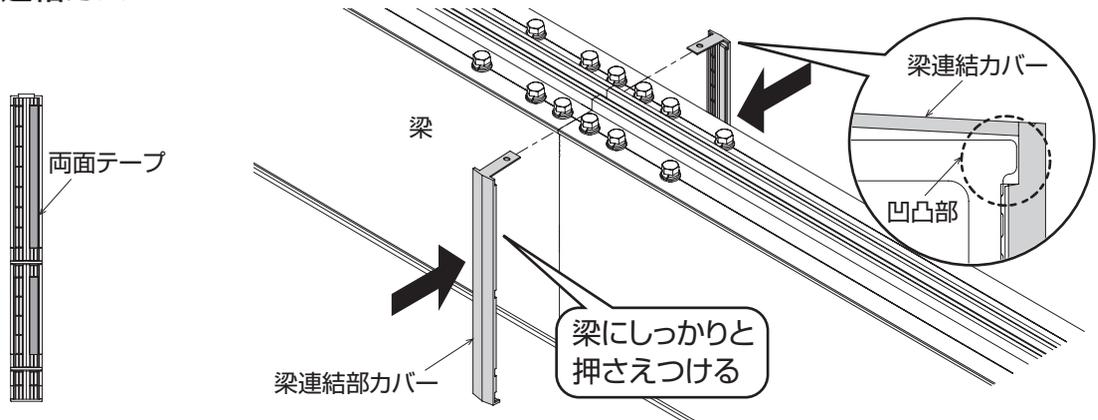


- ⑤ 梁連結カバー取り付け面のゴミや油分、水分などの汚れを取り除き、ウエスなので乾拭きしてください。
- ⑥ 梁連結カバーの両面テープのハクリ紙をはがしてください。
- ⑦ 梁連結カバーの凹部を梁の凸部にあわせ、接着面を梁にしっかりと押し付けてください。

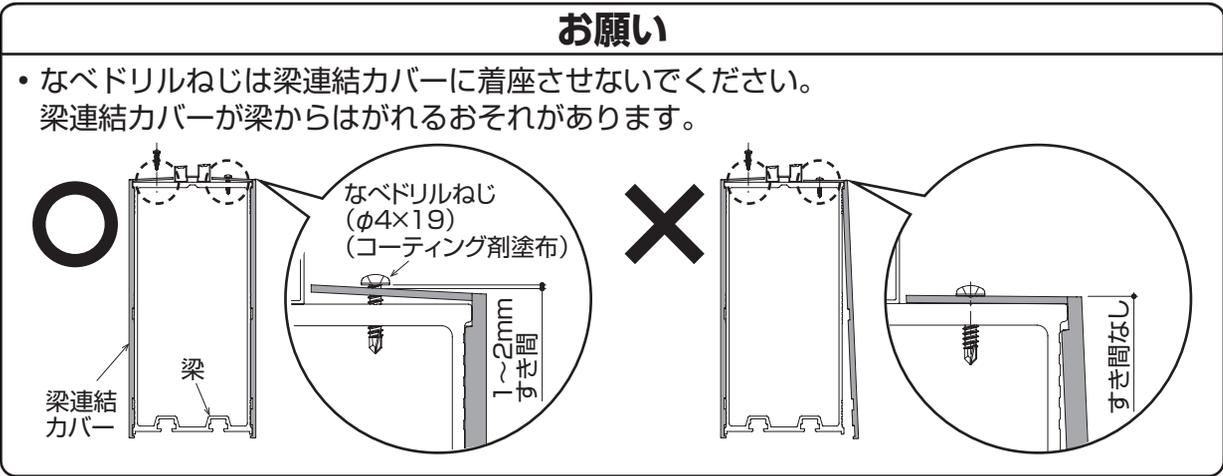
**お願い**

- 削りくずを払ってから、梁連結カバーを取り付けてください。  
削りくずなどの異物があると接着性能が低下し、梁連結カバーが梁からはがれるおそれがあります。

● 梁連結カバー



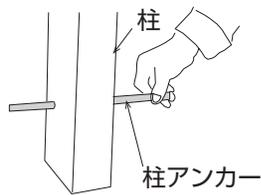
- ⑧ 梁連結カバー上部を浮かせた状態で、梁に固定してください。



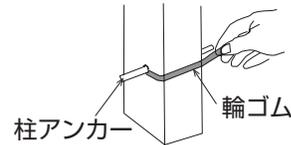
## 柱の施工

1 柱アンカーを柱に取り付けてください。

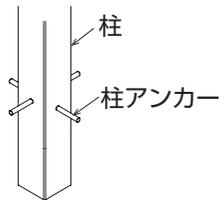
### 独立基礎、土間コンクリート考慮基礎



- 柱アンカーの脱落防止  
例：輪ゴムを柱アンカーに引っかける



### 土間コンクリート同時施工基礎

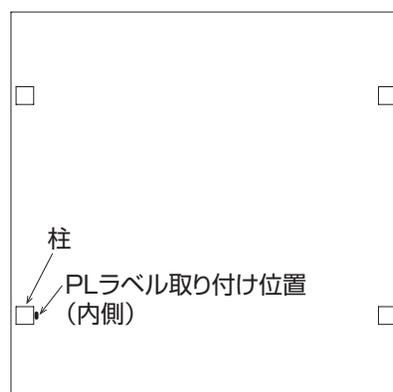


2 柱の向き（PLラベルの位置、梁・横材の連結位置）を確認してください。

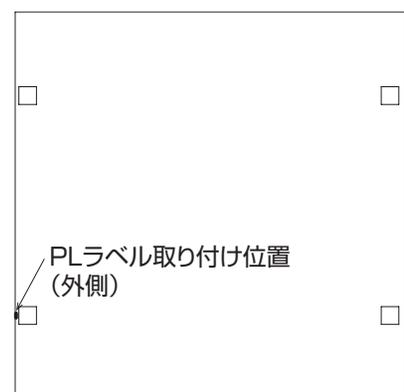
### お願い

- PLラベルをカーポート本体の内側に配置してください。  
外側に向けるとサイドパネルなどを取り付けた際に、PLラベルに記載されている内容が確認できなくなるおそれがあります。

#### ● PLラベル

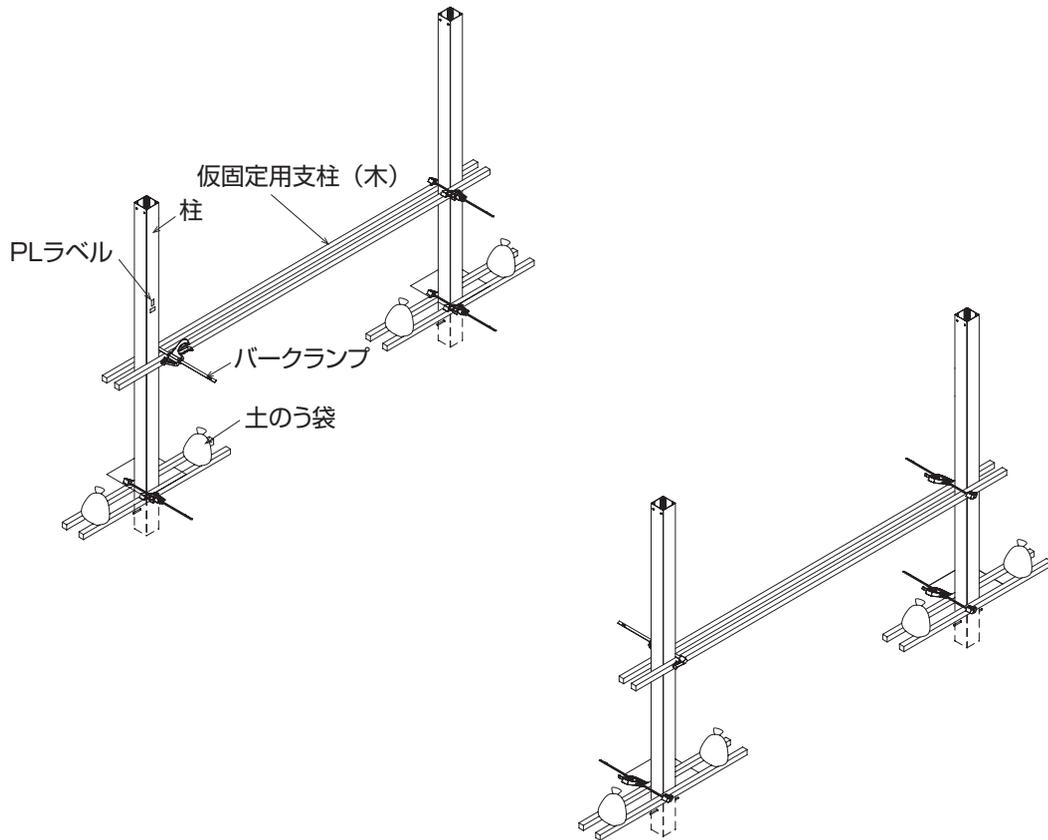


正面



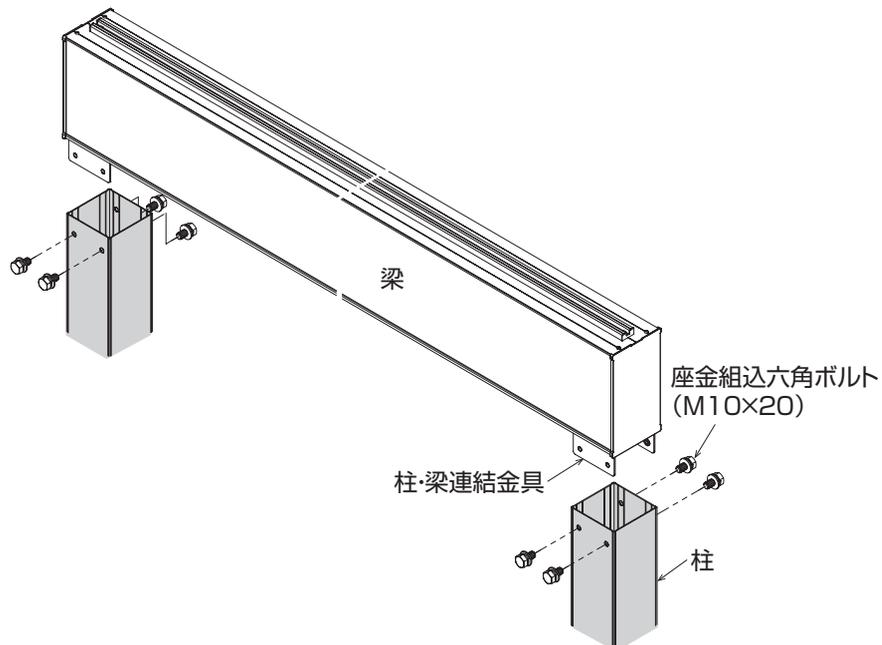
正面

**3** 土のう袋、木片などの固定具を利用して柱を仮固定してください。



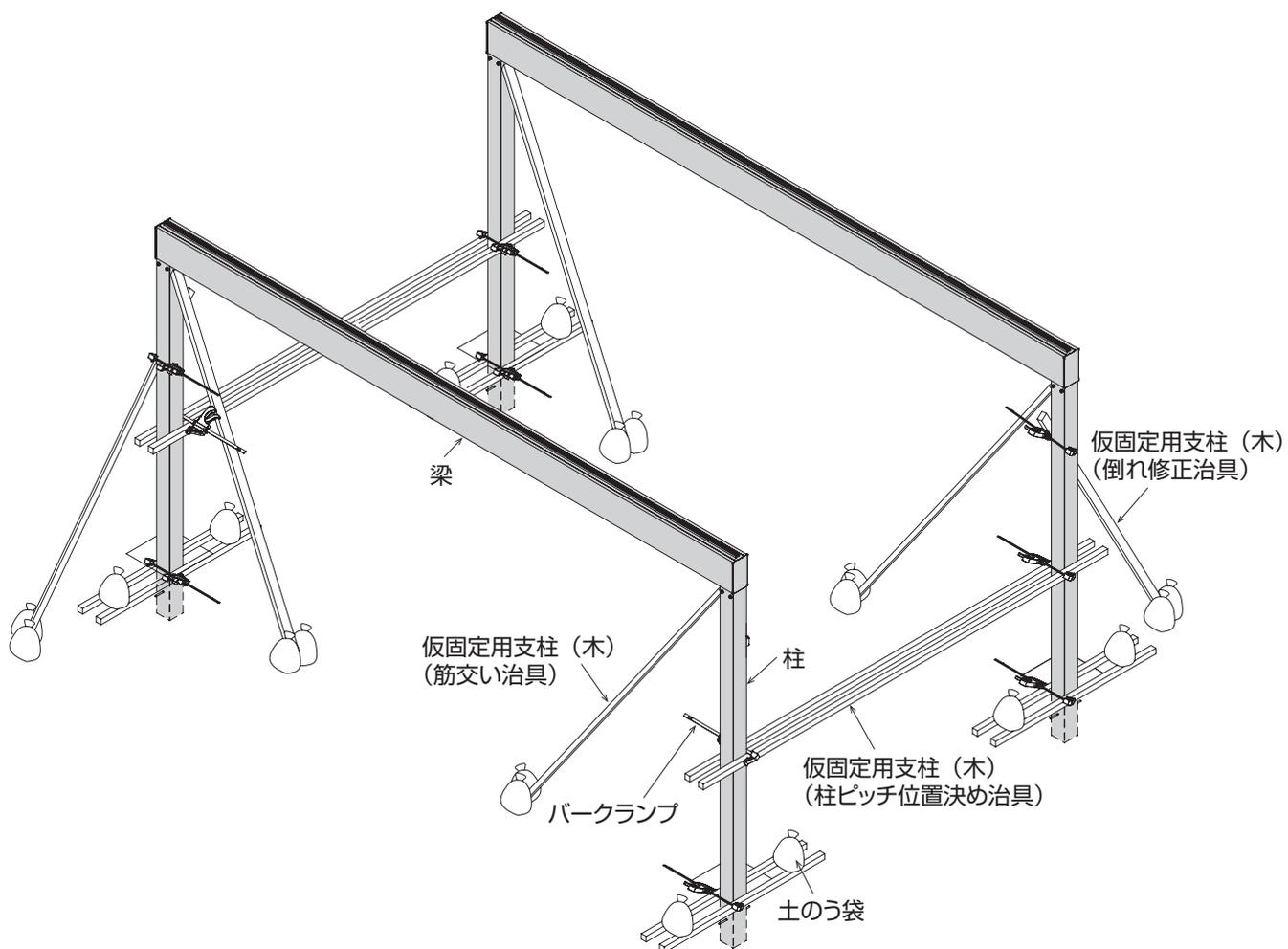
## 柱・梁の取り付け

**1** 柱・梁連結金具を柱に挿入し、梁を柱に仮固定してください。



## 柱の仮固定

1 柱・梁を仮固定してください。



# 屋根部の施工（基礎工事前）

## 側枠・垂木・補助垂木の加工、部品付け（柱を移動する場合）

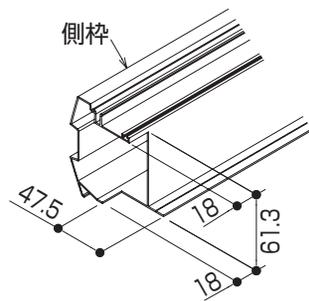
- 1 側枠・垂木・補助垂木に梁位置をあわせて穴加工してください。
- 2 既存の加工穴には穴塞ぎシールを貼ってください。

## 側枠・垂木・補助垂木の加工（奥行切り詰めする場合）

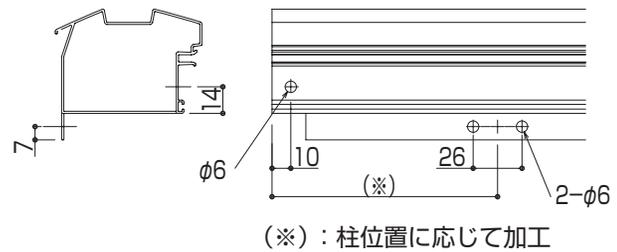
- 1 側枠・垂木・補助垂木に切り欠き・穴加工をしてください。
- 2 水密材の端部をペンチなどでかしめてください。

### ●側枠

#### 【切り欠き】

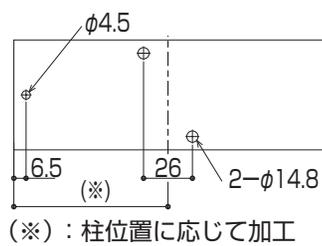
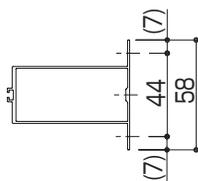


#### 【穴加工】



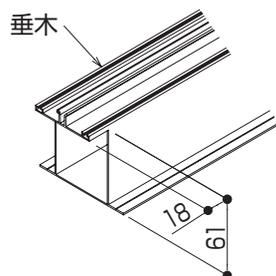
### ●補助垂木

#### 【穴加工】

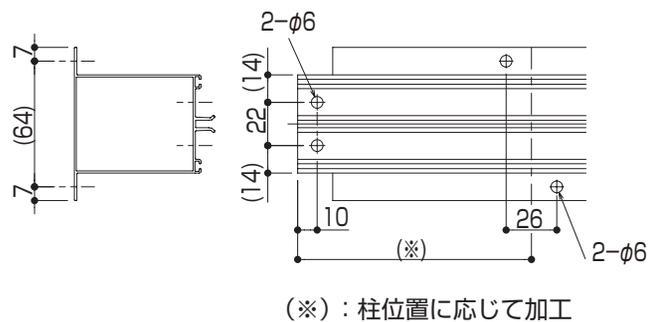


### ●垂木

#### 【切り欠き】

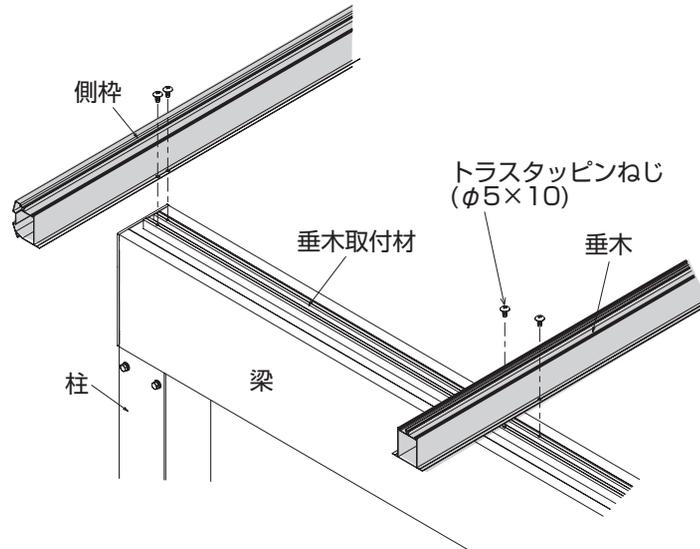


#### 【穴加工】



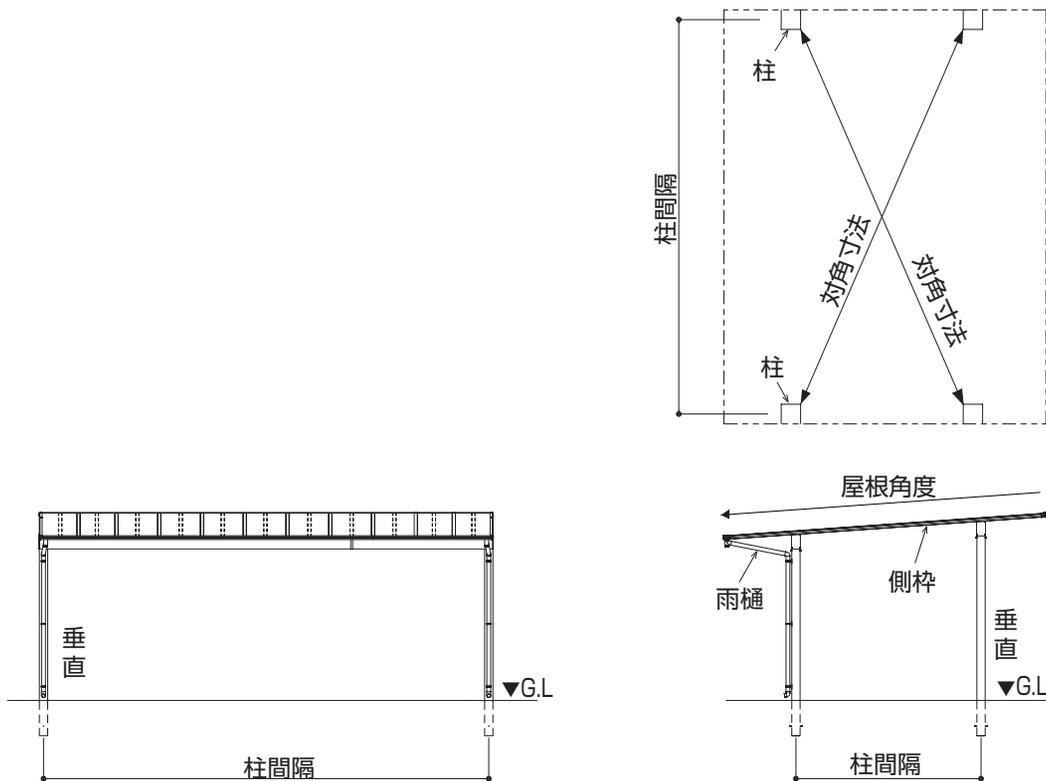
## 側枠・垂木の取り付け

1 側枠・垂木を垂木取付材に取り付けてください。



## 寸法確認・調整

1 柱の間隔・垂直・対角の寸法を確認してください。



2 寸法・角度があわない場合は、部材を動かして調整してください。

3 柱と梁を本固定してください。

## 前枠・後枠の加工（間口切り詰めする場合）

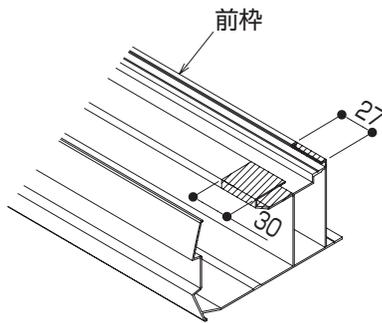
- 1 必要な開口寸法にあわせて切断してください。  
ただし、両側とも0~120mmの間は雨樋の加工に干渉するため切断できません。
- 2 前枠に切り欠き・穴加工、後枠に穴加工をしてください。

### お願い

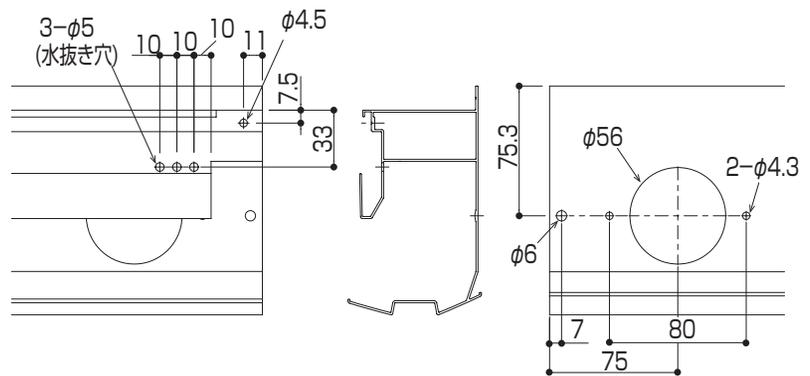
- 必ず水抜き穴をあけてください。雨水が排出されず、雨漏りの原因となります。

#### ● 前枠

##### 【切り欠き】

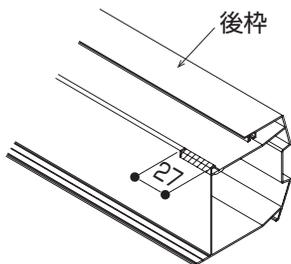


##### 【穴加工】

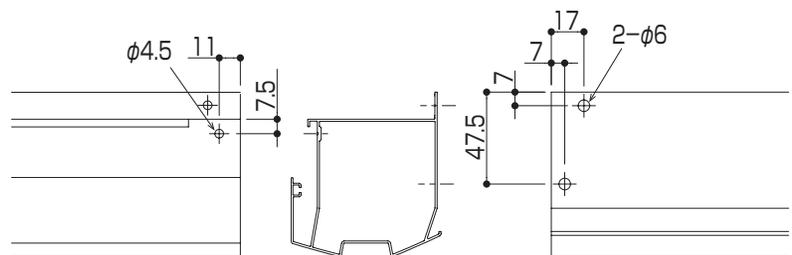


#### ● 後枠

##### 【切り欠き】

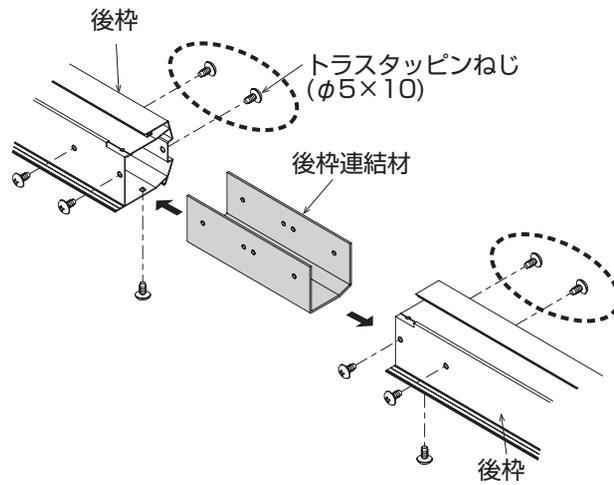


##### 【穴加工】

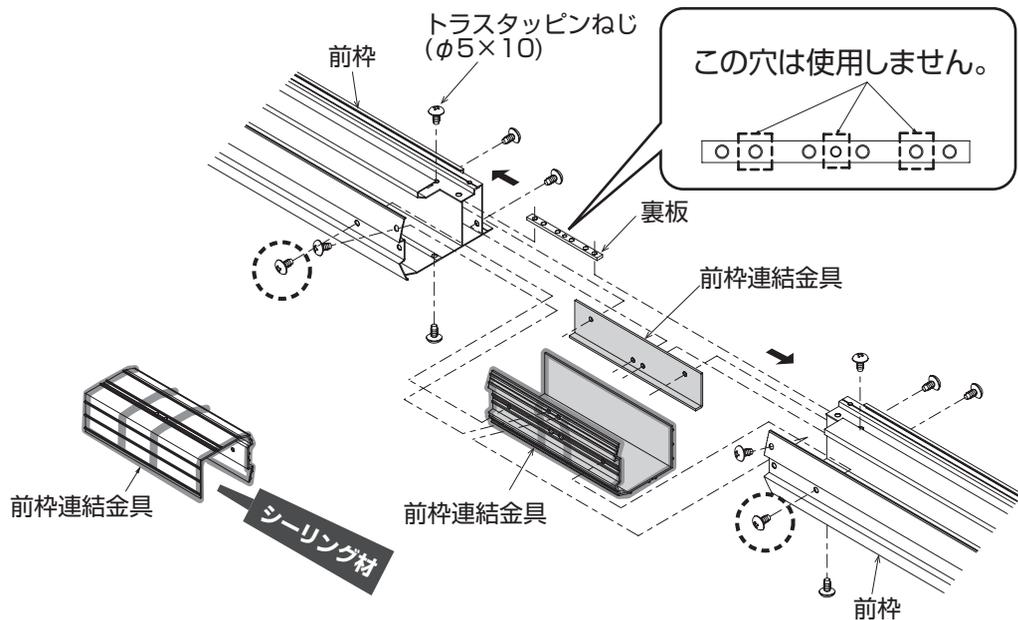


## 前枠・後枠の連結（3台用の場合）

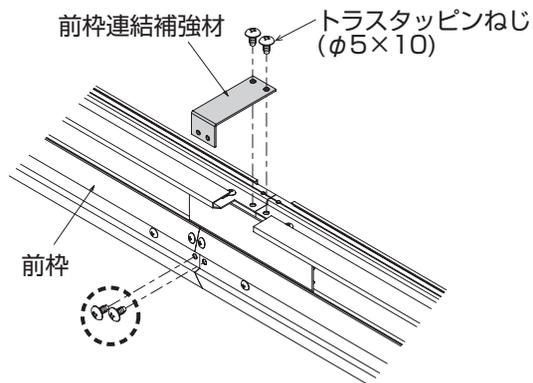
1 後枠を後枠連結材に取り付けてください。



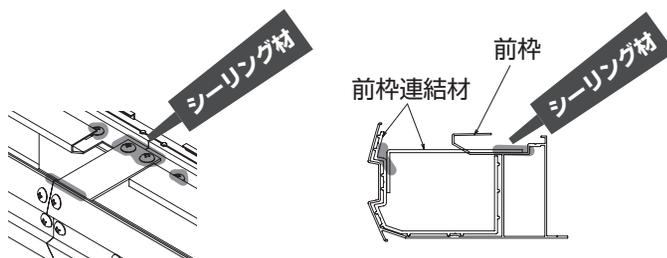
2 前枠連結金具の全周にシーリングを行い、前枠を連結してください。



**3** 前桢連結補強材を前桢連結部に取り付けてください。

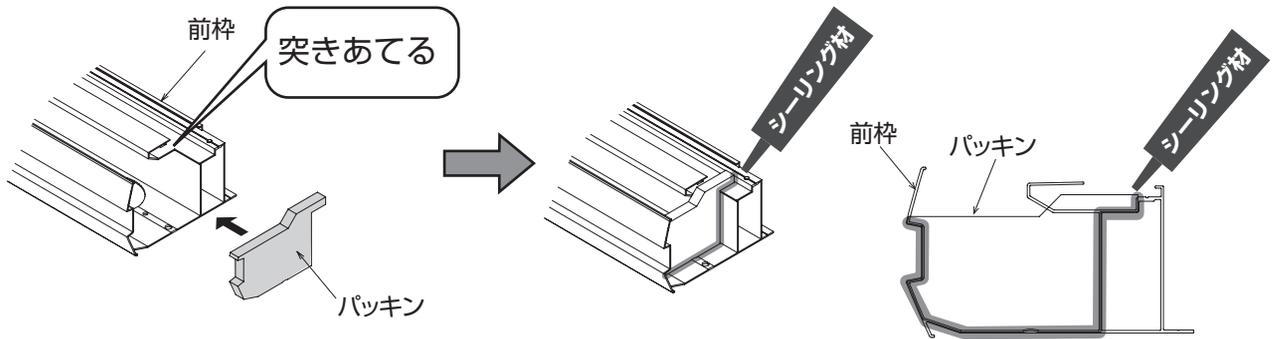


**4** 前桢接合部およびねじ部にシーリングをしてください。

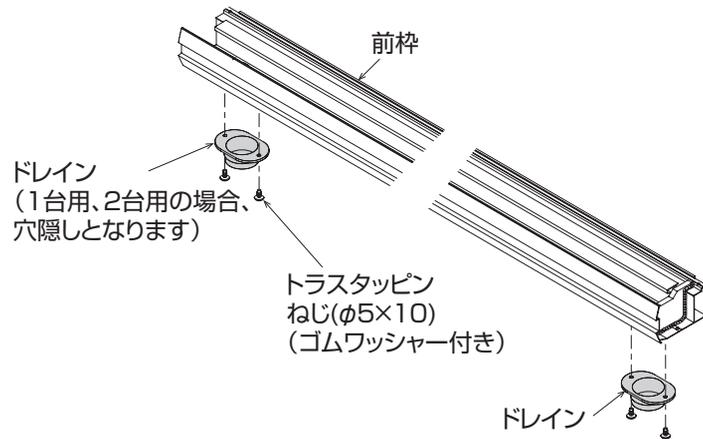


## 前枠・後枠の取り付け

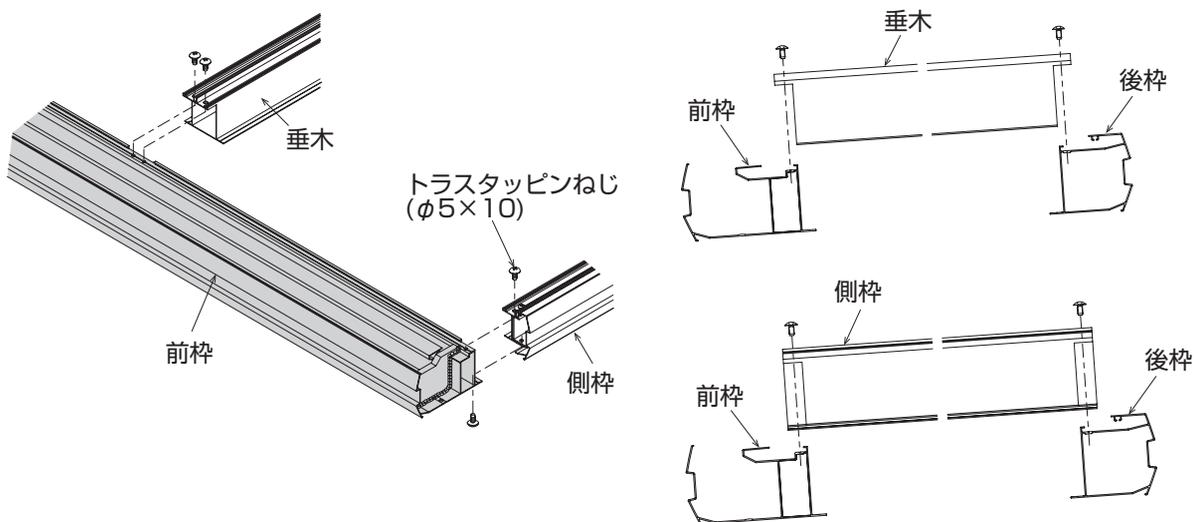
**1** 前枠ヒレに突きあててパッキンを取り付け、パッキンまわりをシーリングしてください。



**2** ドレイン・穴隠しを前枠に取り付けてください。



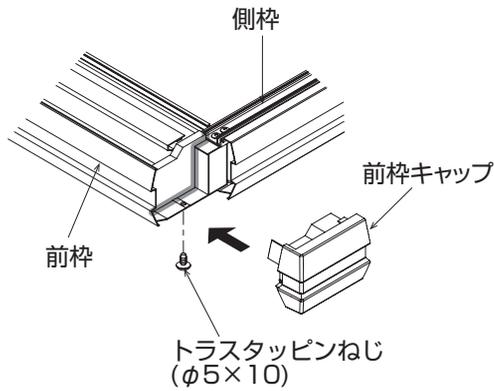
**3** 前枠・後枠を垂木・側枠に取り付けてください。



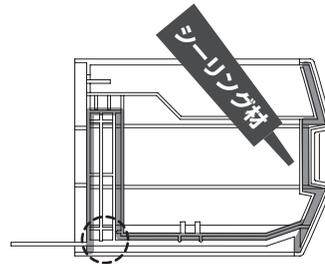
**4** 前枠・後枠のキャップにシーリング材を充てんし、前枠・後枠に取り付けてください。



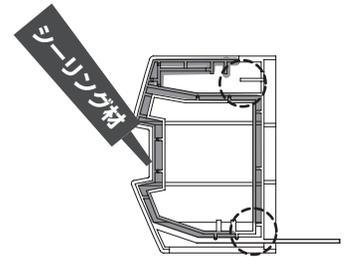
・ 形材内部に侵入した水を排出するため、○位置はシーリングしないでください。



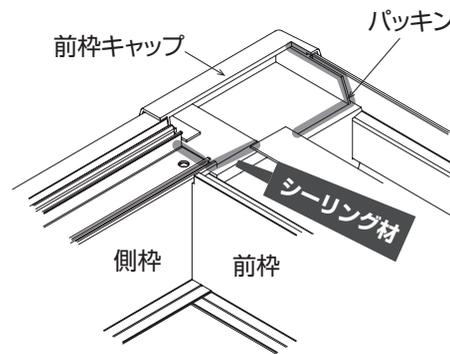
● 前枠キャップ



● 後枠キャップ



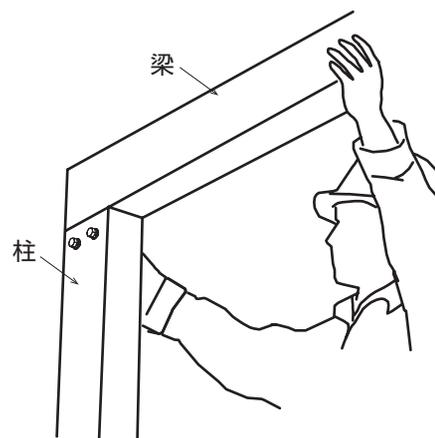
**5** 前枠キャップの端部にシーリングしてください。



## 柱・梁取り付けボルトの本締め

**1** 寸法を再確認してください。「寸法図（→P.46）参照」

**2** 柱・梁取付ボルトを本締めしてください。



# 基礎工事

## ⚠ 注意

- 基礎コンクリートやモルタルには、腐食性の強い塩素系混和剤(急結剤など)や強アルカリ系硬化促進剤、海砂などは使用しないでください。柱の異常腐食や、商品の破損につながるおそれがあります。
- 屋根ふき材の取り付けは、基礎コンクリートが確実に固まってから行ってください。コンクリートの強度が十分になるまで、過度の衝撃や荷重を与えないようにし、雨、霜、凍結、日光などに対してコンクリートを保護してください。(目安：4日～7日)基礎の強度低下につながるおそれがあります。
- 柱などを立ててからコンクリート詰めをしてください。コンクリートを入れたあとに柱を立てると、柱内部に水がたまり凍結破壊や異常腐食につながるおそれがあります。

## お願い

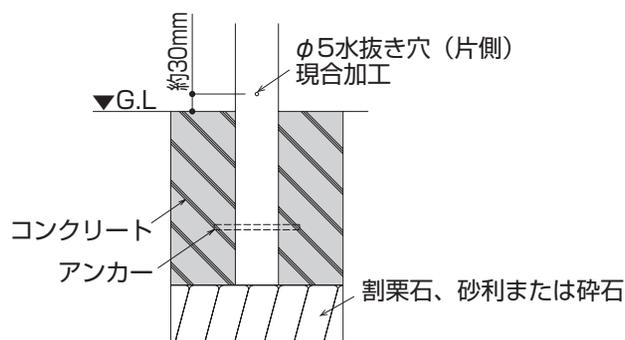
- モルタルやコンクリートなどが商品の表面に付着した場合は、速やかに拭き取ってください。外観不良(シミ・汚れ・つや落ち)につながるおそれがあります。
- 柱のレベル調整は、コンクリート・モルタルが固まる前に行ってください。固まった後の調整は、柱の強度が著しく低下するおそれがあります。
- 指定位置に必ず水抜き穴をあけてください。凍結破損や異常腐食につながるおそれがあります。

## 柱の水抜き穴加工

1 柱に水抜き穴をあけてください。



- 土間コンクリートを後から仕上げる場合は、水抜き穴は仕上げ面から30mmの位置になるように加工してください。



## 柱の寸法確認

1 柱の位置を再確認してください。「寸法図(→P.46)参照」

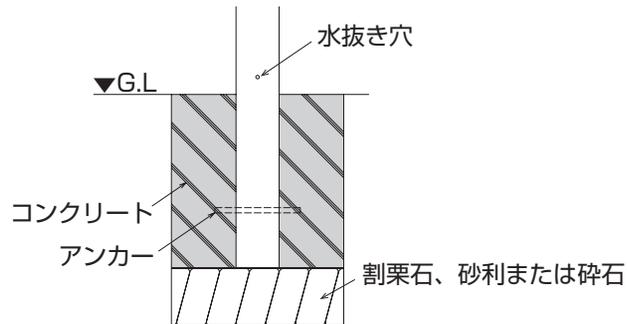
## 基礎コンクリートの打ち込み

1 基礎穴に基礎コンクリートを打ち込んでください。

### お願い

- コンクリートは十分に締め固めてください。  
ジャンカや空隙などが発生し、コンクリートの品質が低下します。
- 柱の水抜き穴はコンクリートで塞がないでください。塞がった場合は、水抜き穴をあけてください。水が溜まり腐食の原因および思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

### 独立基礎、土間コンクリート考慮基礎



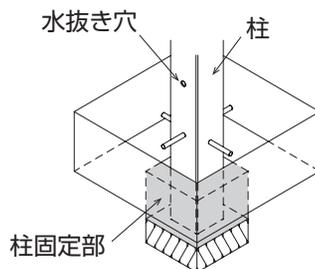
### 土間コンクリート同時施工基礎

### ⚠ 注意

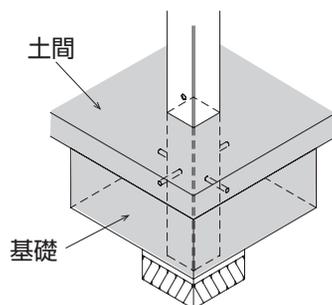
- 土間および基礎のコンクリートは必ず、同時打設し一体化してください。  
別々に打設するとコンクリートが損傷し、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

①モルタルまたはコンクリートを柱仮固定部に打設してください。

- 図はアンカー2本の場合を示しています。



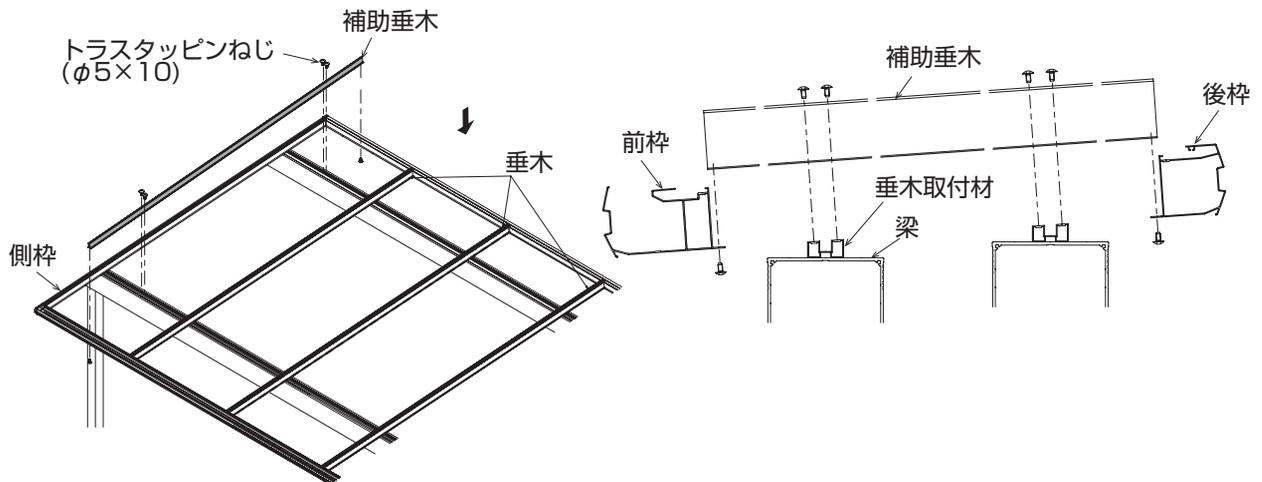
②土間および基礎コンクリートを同時打設・養生してください。



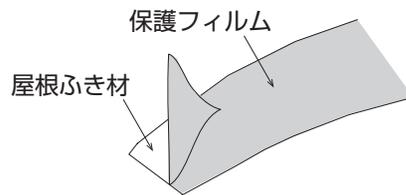
# 屋根部の施工（基礎養生後）

## 補助垂木・屋根ふき材・屋根ふき材押えの取り付け

1 補助垂木を側枠と垂木の間に取り付けてください。



2 屋根ふき材の保護フィルムをはがしてください。



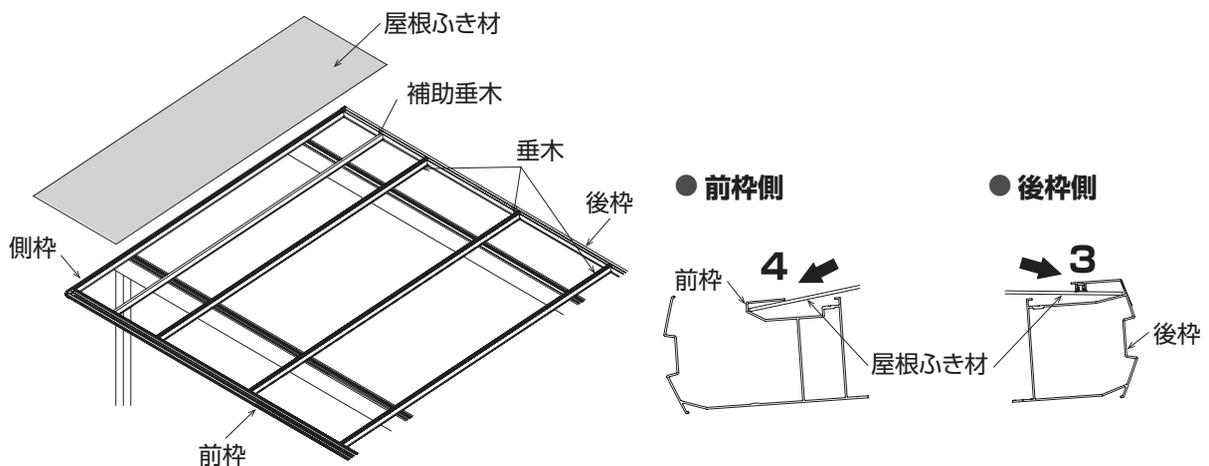
3 屋根ふき材を後枠側に挿入してください。

4 屋根ふき材を前枠側に挿入してください。



### 屋根ふき材がマット調の場合

マット面(凹凸面)を屋根下面にしてください。



**5** 屋根ふき材を前枠の溝にあたるまで押し込んでください。

**注意**

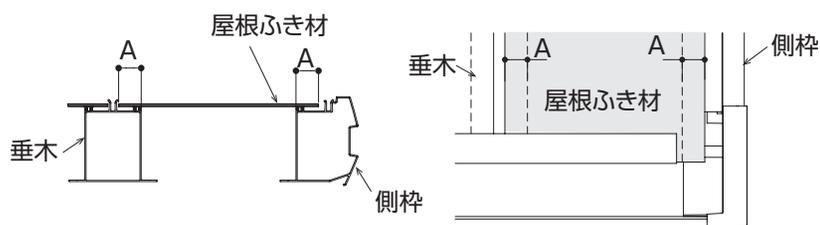
- 屋根ふき材は必ず前枠の溝の奥にあたるまで押し込んでください。  
耐荷重性能低下により商品が破損し思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



**6** 屋根ふき材の左右のみ込みをあわせてください。

**注意**

- 屋根ふき材ののみ込みが左右同じになるように調整してください。  
耐荷重性能低下により商品が破損し思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



**7** 屋根ふき材押え(側枠用)を後枠に押しあてながら取り付けてください。

**注意**

- 屋根ふき材押えの取付ねじは、適正トルクでねじ留めしてください。  
締め付けすぎるとねじが空転し、強度低下や脱落により思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。締め付けトルクは以下を目安に設定してください。  
2.5~3.0N・m(25~30kgf・cm)

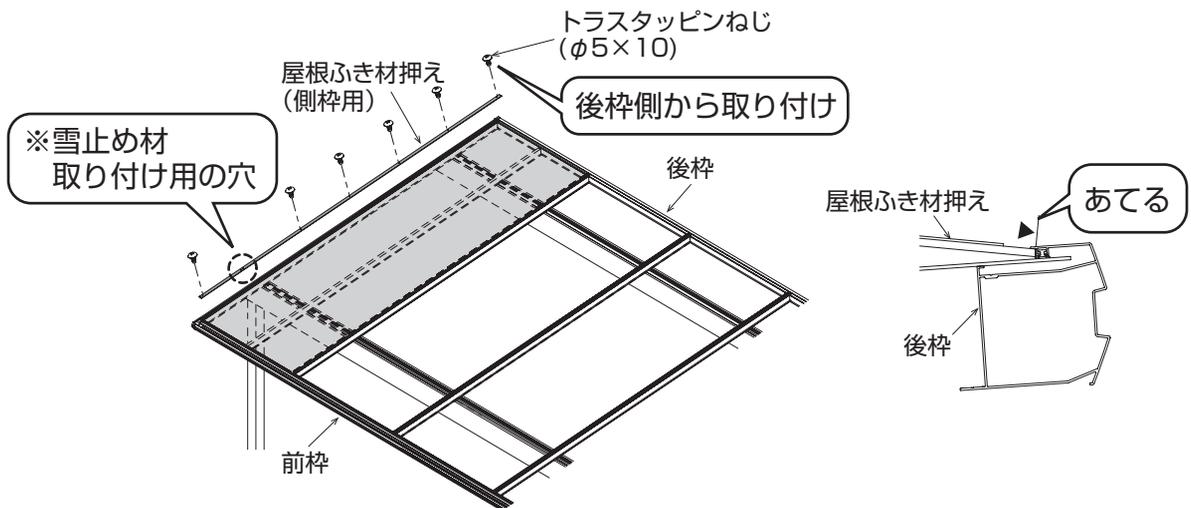
**お願い**

- 後枠側→前枠側の順に取り付けてください。雨漏りの原因となります。
- 屋根ふき材押えの取付ねじは、取り付け面に対して垂直に取り付けてください。  
ねじの浮き、および斜めの取り付けは雨漏りの原因となります。



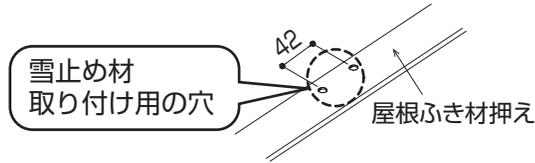
- 屋根ふき材押えには前後があります。  
ダンボールの印字に従って取り付けてください。
- 屋根ふき材押えには雪止め材取り付け用の穴があいています。  
屋根ふき材押え取り付け時にねじ留めしないでください。

※「雪止め材取り付け用穴位置（→ P.38）参照」

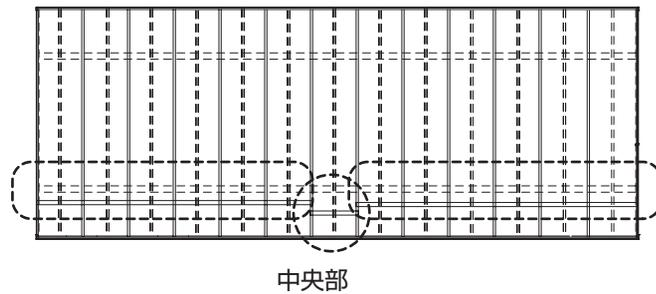
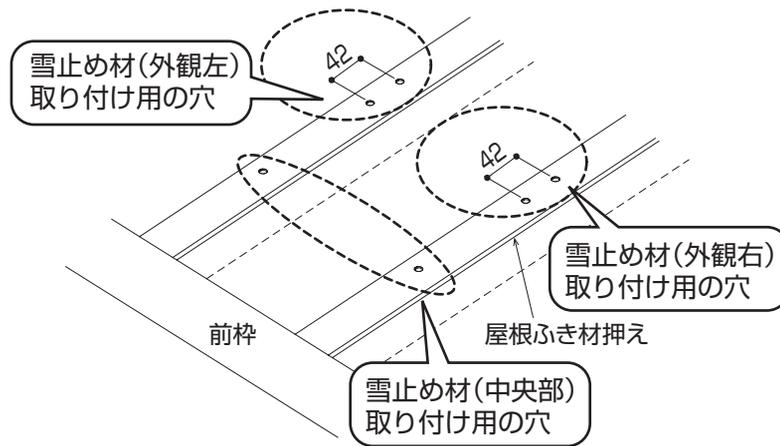


## ■ 雪止め材取り付け用穴位置

- 1 台用・2 台用



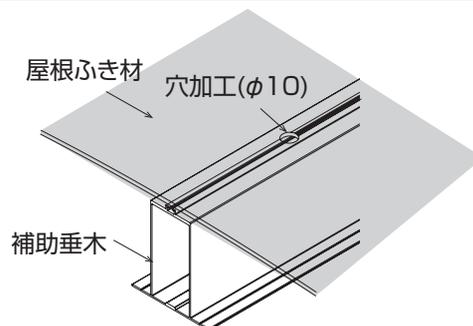
- 3 台用



- 8** 屋根ふき材取付位置を確認のうえ、穴中心が補助垂木中央の水密材の中心にあうように、穴加工( $\phi 10$ )をしてください。



低温時での穴加工は、ポリカーボネート板が割れるおそれがあります。



9 切削屑を除去してください。

10 屋根ふき材補強部品を取り付けてください。

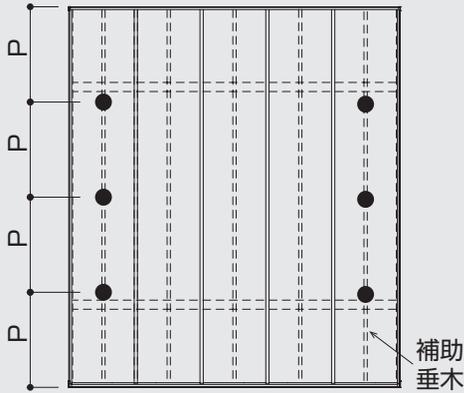


●屋根ふき材補強部品の取り付けは、屋根ふき材の取り付けと同時に行ってください。

●印＝屋根ふき材補強部品取り付け位置

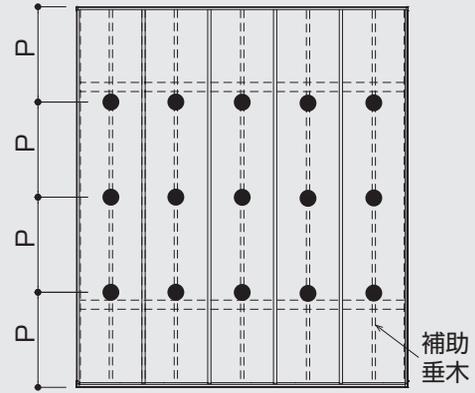
**標準仕様の場合**

側枠側の補助垂木のみに取り付け

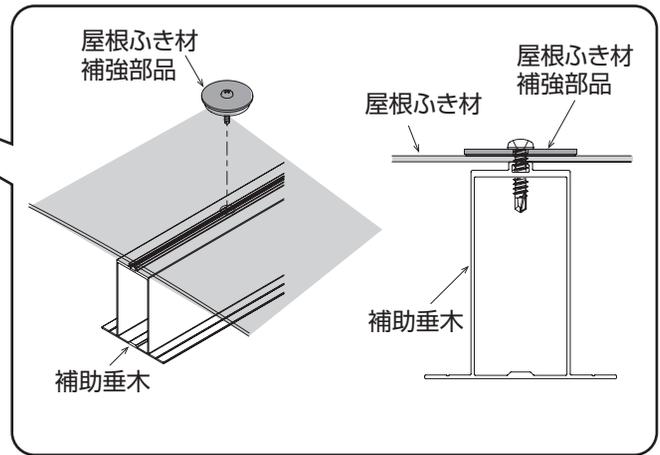
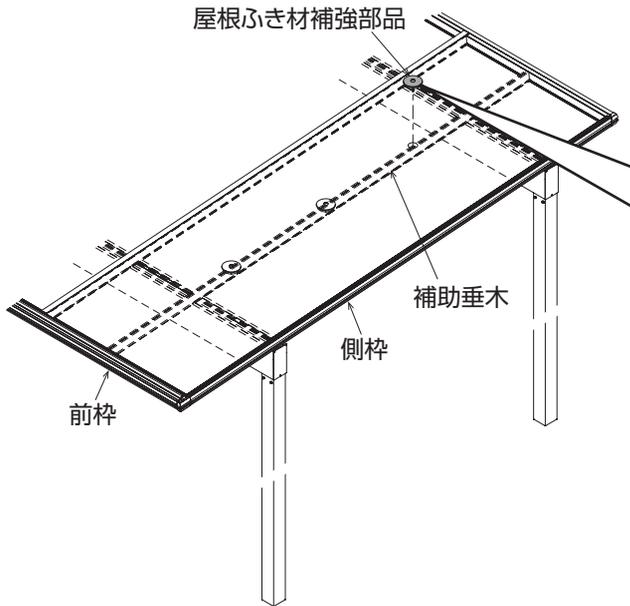


**オプションを追加した場合**

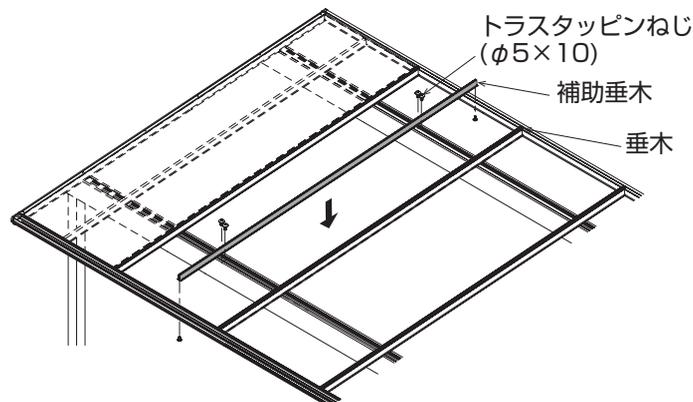
全ての補助垂木に取り付け



長さ	L51	L54	L57
P	1266	1353	1445



11 補助垂木を隣のスパンに取り付けてください。



## 12 手順2～11を繰り返してください。

### ⚠ 注意

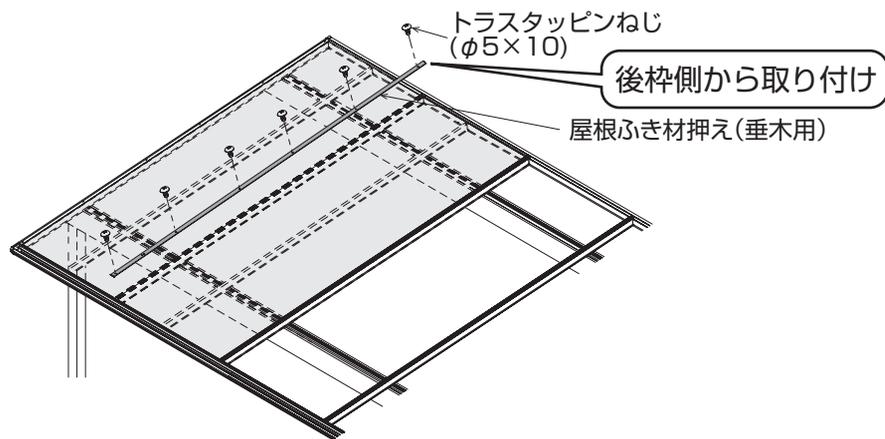
- 屋根ふき材押えの取付ねじは、適正トルクでねじ留めしてください。  
締め付けすぎるとねじが空転し、強度低下や脱落により思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。締め付けトルクは以下を目安に設定してください。  
2.5～3.0N・m(25～30kgf・cm)

### お願い

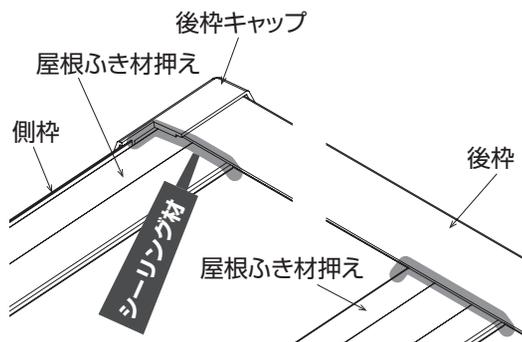
- 後枠側→前枠側の順に取り付けてください。雨漏りの原因となります。
- 屋根ふき材押えの取付ねじは、取り付け面に対して垂直に取り付けてください。  
ねじの浮き、および斜めの取り付けは雨漏りの原因となります。



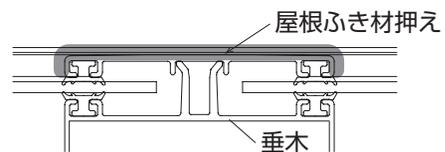
- 屋根ふき材押えには前後があります。  
ダンボールの印字に従って取り付けてください。
- 屋根ふき材押えには雪止め材取り付け用の穴があいています。  
屋根ふき材押え取り付け時にねじ留めしないでください。



## 13 シーリングしてください。



後枠と屋根ふき材押え部は  
「」字型にシーリングをしてください。



## 雪止め材の取り付け

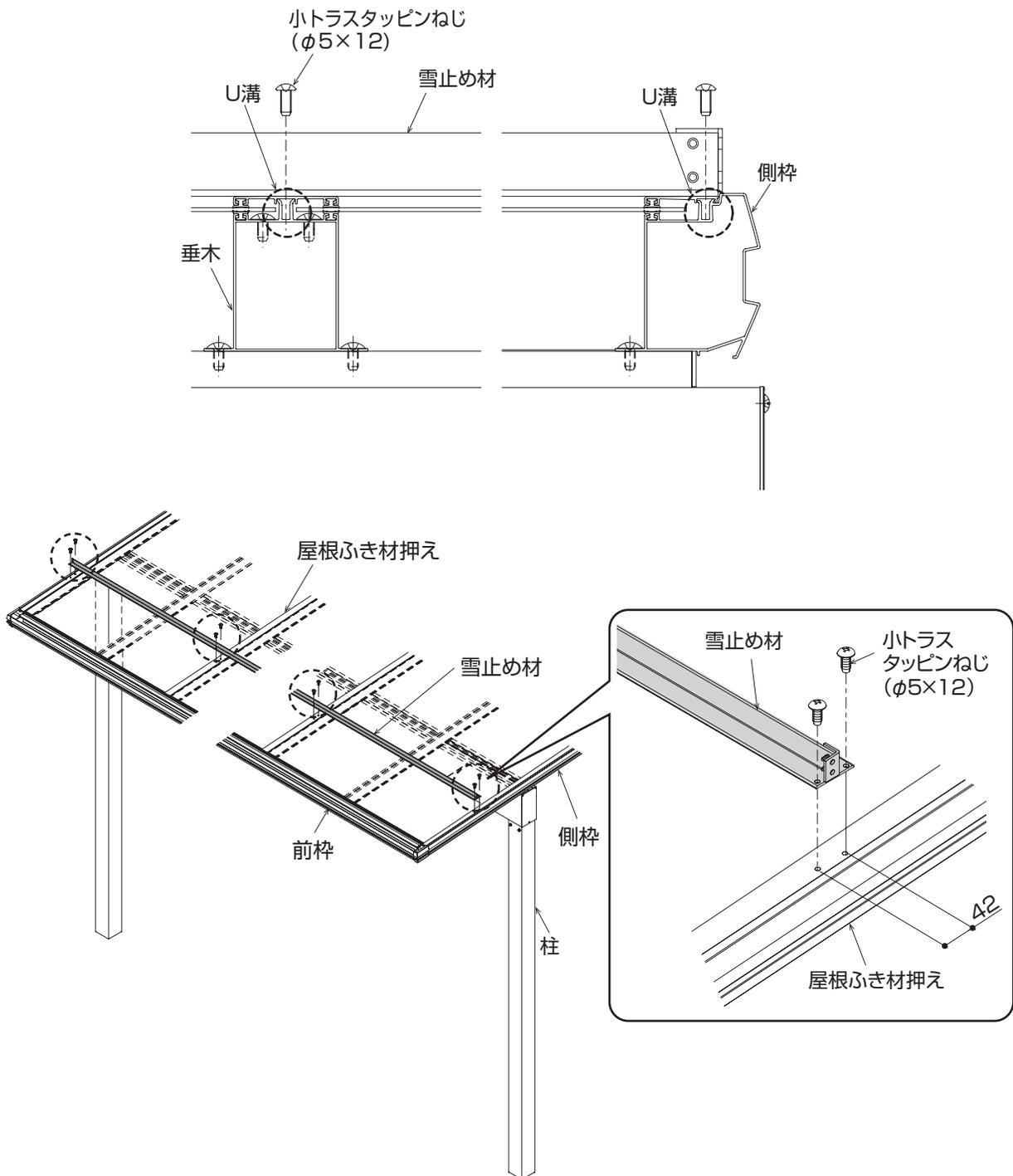


- 雪止め材に着座した状態でねじを締め付け過ぎないでください。  
ねじ山が破損するおそれがあります。

### 1 台用・2 台用の場合

- 1 雪止め材を屋根ふき材押えの取り付け穴に取り付けてください。

「ねじ山が破損した場合（→P.43）参照」

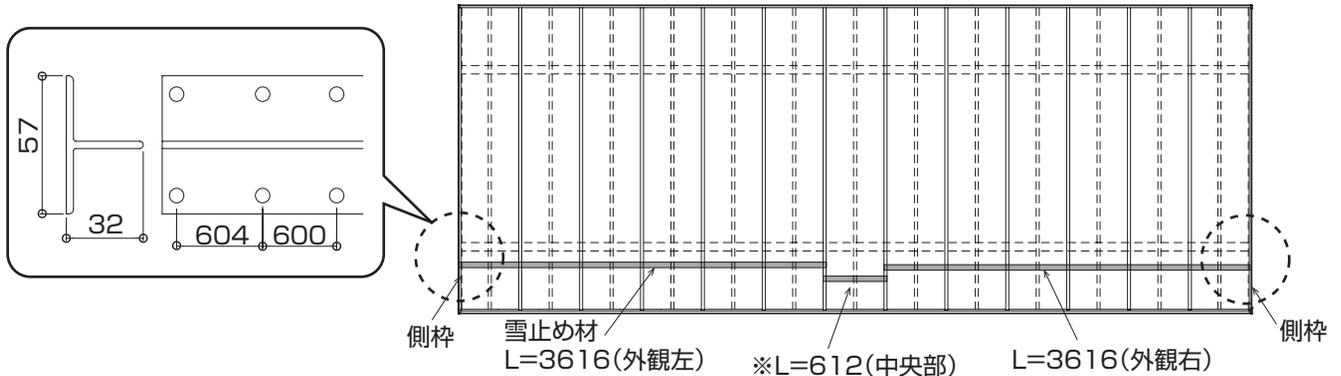


### 3 台用の場合

1 雪止め材は3分割されています。図のように配置してください。



• 側枠の取り付け部のみ4mm広がっています。



2 屋根ふき材押えに穴加工（φ4）してください。

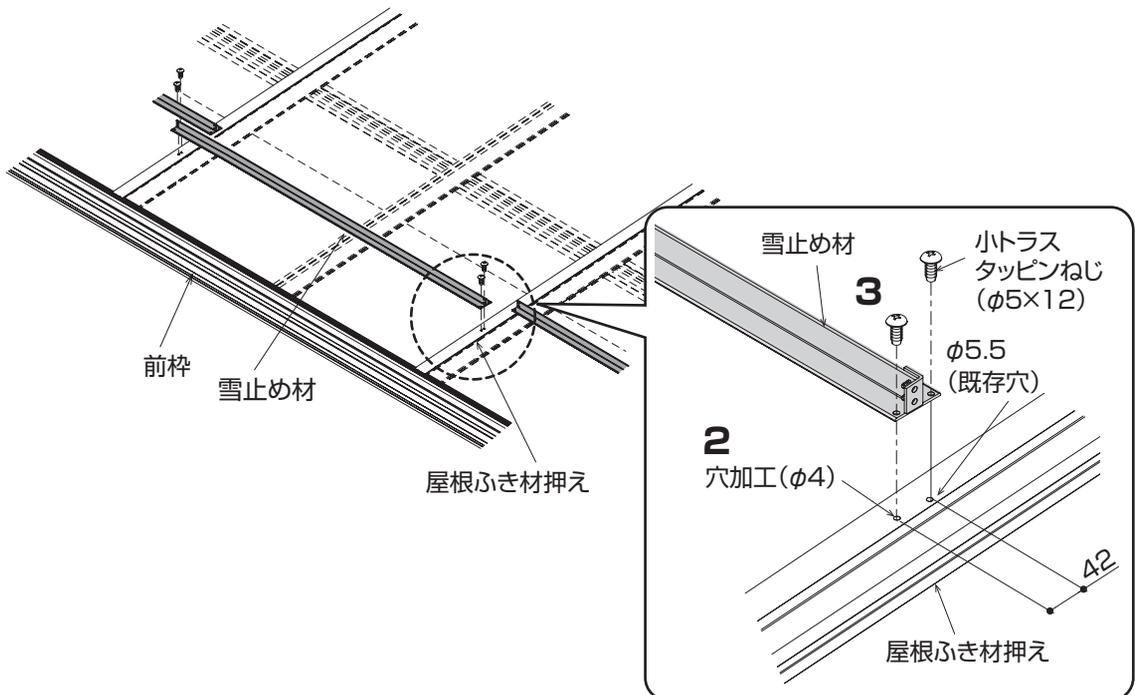
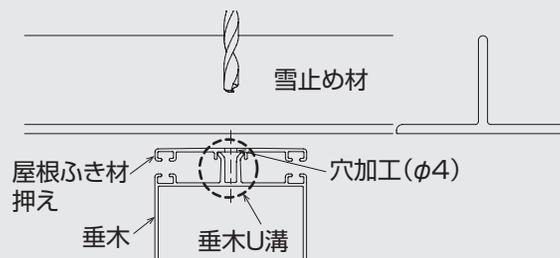
3 雪止め材を屋根ふき材押えの取り付け穴に取り付けてください。

#### ねじ山が破損した場合（3台用）

「ねじ山が破損した場合（→P.43）参照」



• 穴加工の際に垂木のU溝にキズを付けないようにしてください。



## ねじ山が破損した場合

### ⚠ 注意

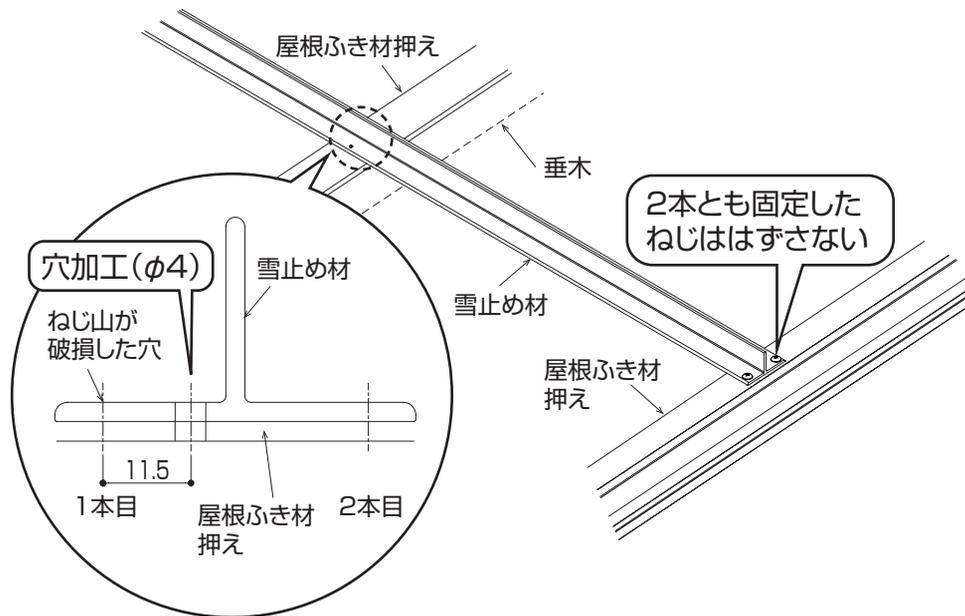
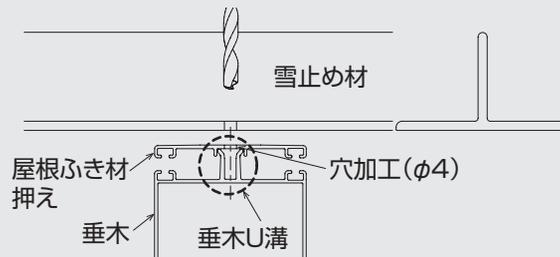
- ねじ山が破損したまま雪止め材を取り付けしないでください。  
雪止め材の落下により思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

### 1 同一垂木部への1本目のねじ山が破損した場合

雪止め材および屋根ふき材押えのねじ山が破損した穴の11.5mm内側に、穴加工（φ4）してください。

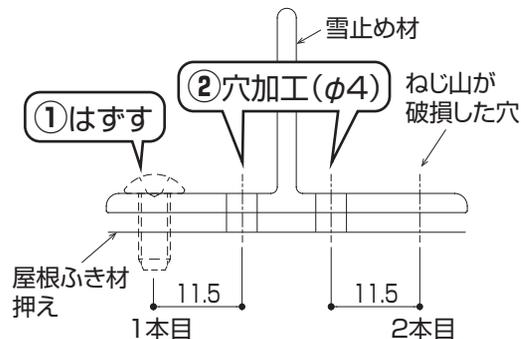


- 穴加工の際に垂木のU溝にキズを付けないようにしてください。



### 2 同一垂木部への2本目のねじ山が破損した場合

- ① 同一垂木部への1本目のねじを取りはずしてください。
- ② 雪止め材および屋根ふき材押えのねじ山が破損した穴と1本目のねじを取りはずした穴の11.5mm内側に、穴加工（φ4）してください。

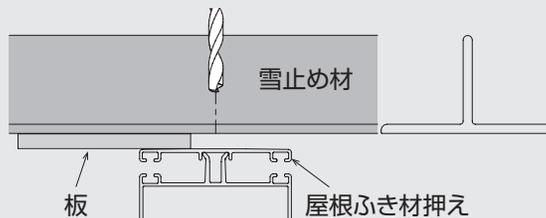


**3** 3～5mmの板をはさみ、雪止め材を浮かせた状態にしてください。

**4** 雪止め材にあけた穴（φ4）に追加加工（φ6）してください。

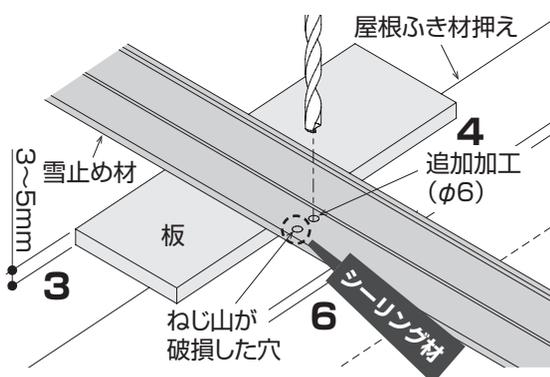


• 穴加工の際に屋根ふき材押えにキズを付けないようにしてください。



**5** 雪止め材の削りくずを除去してください。

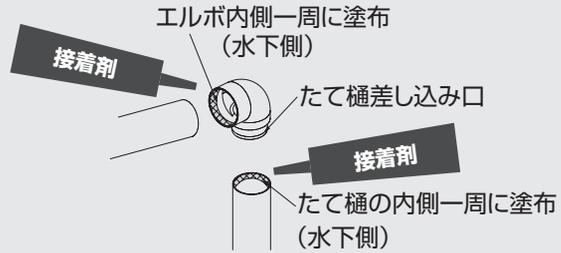
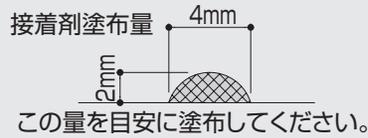
**6** ねじ山が破損した穴およびねじをはずした穴にシーリングしてください。



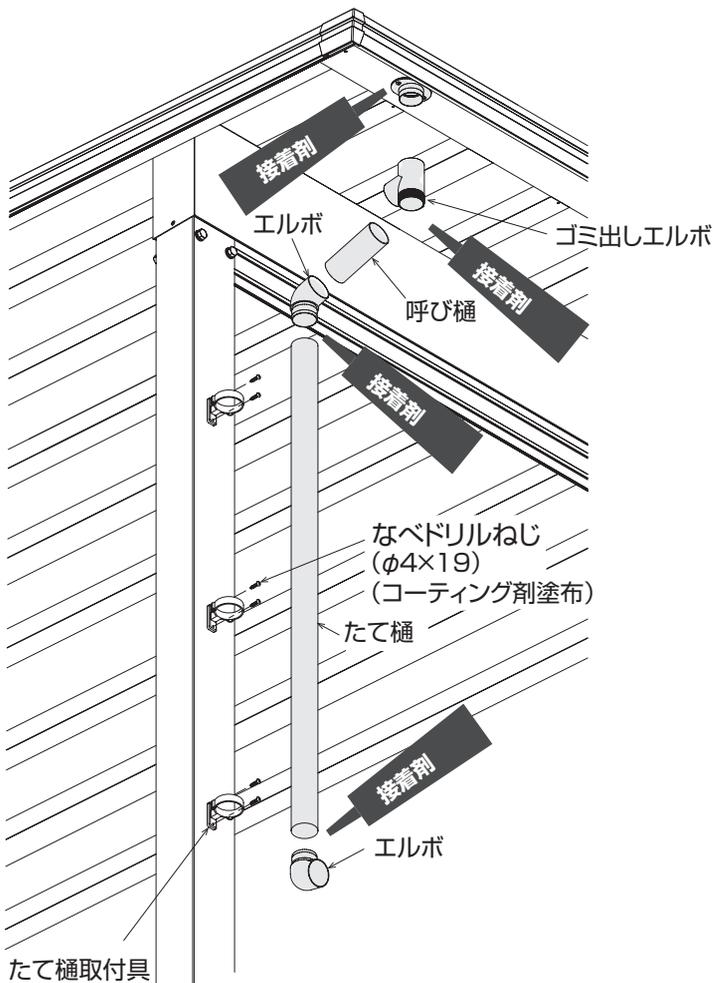
## 雨樋の施工



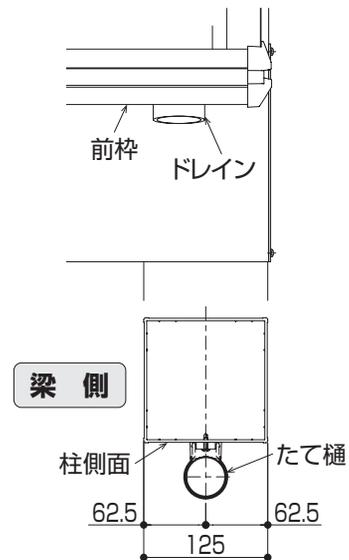
- 雨樋部品からの水漏れ防止のため、下記の要領で接着剤を塗布してください。必ず商品に同梱の接着剤を使用してください。



- 1 たて樋取付具を柱に取り付けてください。
- 2 呼び樋を取り付け長さにあわせて切断してください。（表参照）
- 3 ゴミ出しエルボをドレインに挿入してください。
- 4 呼び樋をゴミ出しエルボに挿入してください。
- 5 エルボを呼び樋に挿入してください。
- 6 たて樋を取り付け長さにあわせて切断してください。
- 7 たて樋をエルボに挿入してください。
- 8 エルボをたて樋に挿入してください。
- 9 たて樋をたて樋取付具で取り付けてください。



### ■ 取り付け位置



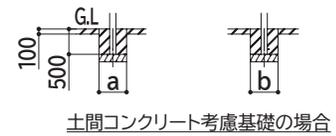
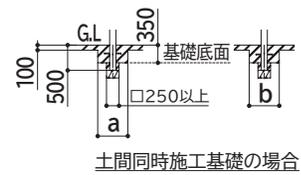
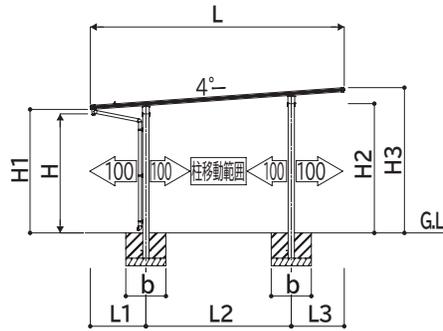
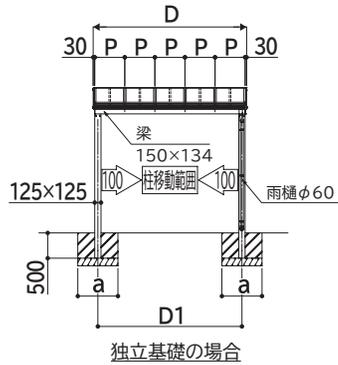
### ■ 呼び樋長さ

側面から見た 柱本数	奥行呼称L		
	L51	L54	L57
2	886	963	1048
3	625	603	689
4	296	321	433

・切り詰めや柱移動をした場合は、調整してください。

# 寸法図

## アーバンルーフII レギュラースترونクタイプ 50



### ■高さ寸法表

間口呼称	奥行呼称	高さ呼称	H	H1	H2	H3
30	51	24	2355	2444	2558	2874
	54			2439	2572	2894
	57			2433	2586	2913

・H=2500(H=2800)の場合、  
H,H1,H2,H3は145(445)足した寸法にしてください。

### ■間口-奥行寸法表

間口呼称	奥行呼称	D	D1	L	L1	L2	L3	P
30	51	3060	2873	5065	1109	2900	1056	600
	54			5413	1183	3100	1130	
	57			5781	1267	3300	1214	

### ■基礎寸法表

		サイドパネル無								
間口呼称	奥行呼称	独立基礎			土間コンクリート考慮基礎			土間同時施工基礎		
		地耐力(kN/m <sup>2</sup> )			地耐力(kN/m <sup>2</sup> )			地耐力(kN/m <sup>2</sup> )		
		30	50	100	30	50	100	30	50	100
30	51	670	480	450	450	450	450	470	450	450
	54	690	500	460	460	460	460	490	470	470
	57	710	520	480	480	480	480	510	500	500

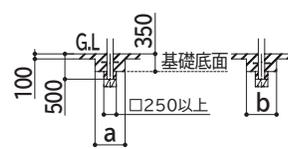
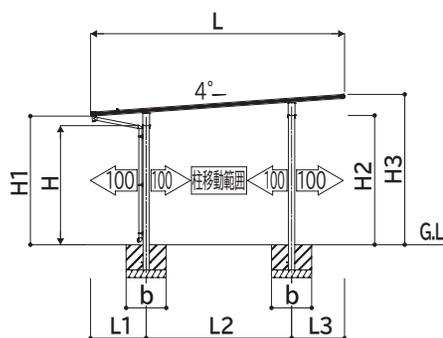
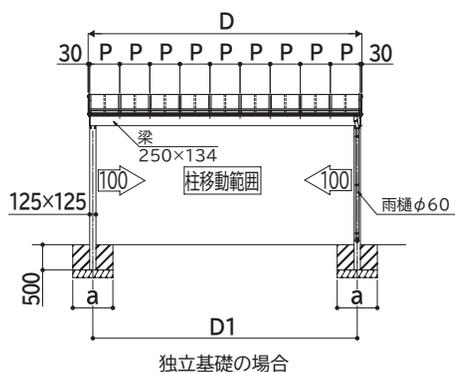
		サイドパネル有								
間口呼称	奥行呼称	独立基礎			土間コンクリート考慮基礎			土間同時施工基礎		
		地耐力(kN/m <sup>2</sup> )			地耐力(kN/m <sup>2</sup> )			地耐力(kN/m <sup>2</sup> )		
		30	50	100	30	50	100	30	50	100
30	51	770	660	460	450	450	450	470	450	450
	54	790	690	490	460	460	460	490	470	470
	57	820	720	520	480	480	480	510	500	500

### ■土間同時施工基礎アンカー本数表

間口 奥行呼称	アンカー 本数
全サイズ	2

・柱1本あたり

# アーバンルーフII ワイドストロングタイプ 50



### ■高さ寸法表

間口呼称	奥行呼称	高さ呼称	H	H1	H2	H3
全サイズ	51	24	2355	2544	2558	2974
	54			2539	2572	2994
	57			2533	2586	3013

・H=2500(H=2800)の場合、  
H,H1,H2,H3は145(445)足した寸法にしてください。

### ■間口-奥行寸法表

間口呼称	奥行呼称	D	D1	L	L1	L2	L3	P
48	51	4860	4673	5065	1109	2900	1056	600
	54			5413	1183	3100	1130	
	57			5781	1267	3300	1214	
54	51	5460	5273	5065	1109	2900	1056	
	54			5413	1183	3100	1130	
	57			5781	1267	3300	1214	
60	51	6060	5873	5065	1109	2900	1056	
	54			5413	1183	3100	1130	
	57			5781	1267	3300	1214	

### ■基礎寸法表

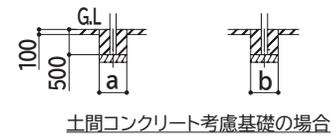
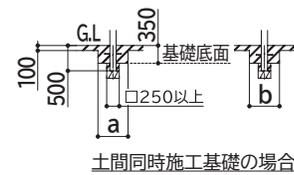
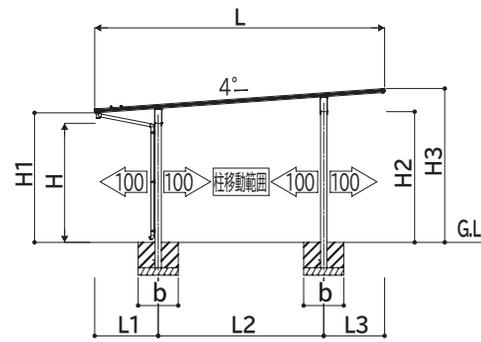
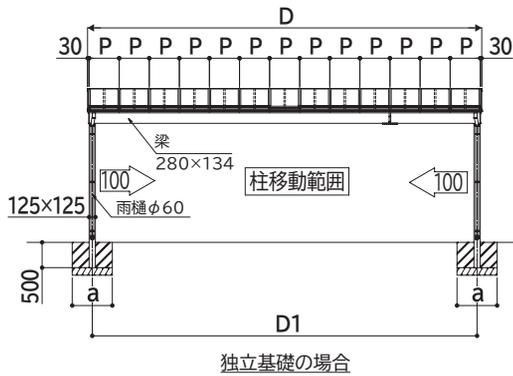
間口呼称	奥行呼称	サイドパネル有無共通								
		独立基礎			土間コンクリート考慮基礎			土間同時施工基礎		
		地耐力(kN/m <sup>2</sup> )			地耐力(kN/m <sup>2</sup> )			地耐力(kN/m <sup>2</sup> )		
		30	50	100	30	50	100	30	50	100
48	51	a·b	a·b	a·b	a·b	a·b	a·b	a·b	a·b	a·b
	54	870	770	560	560	560	560	650	630	630
	57	900	800	580	580	580	580	680	660	660
	57	920	820	600	600	600	600	710	690	690
54	51	930	830	600	600	600	600	700	680	680
	54	950	860	620	620	620	620	730	710	710
	57	980	880	640	640	640	640	760	750	750
60	51	980	880	630	630	630	630	750	730	730
	54	1000	910	650	650	650	650	790	770	770
	57	1030	940	670	670	670	670	820	800	800

### ■土間同時施工基礎アンカー本数表

間口 奥行呼称	アンカー 本数
全サイズ	4

・柱1本あたり

# アーバンルーフII ジャンボストロングタイプ 50



■高さ寸法表

間口呼称	奥行呼称	高さ呼称	H	H1	H2	H3
78	51	24	2355	2574	2558	3004
	54			2569	2572	3024
	57			2563	2586	3043

・H=2500(H=2800)の場合、  
H,H1,H2,H3は145(445)足した寸法にしてください。

■間口-奥行寸法表

間口呼称	奥行呼称	D	D1	L	L1	L2	L3	P
78	51	7860	7673	5065	1109	2900	1056	600
	54			5413	1183	3100	1130	
	57			5781	1267	3300	1214	

■基礎寸法表

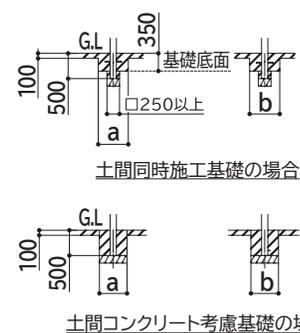
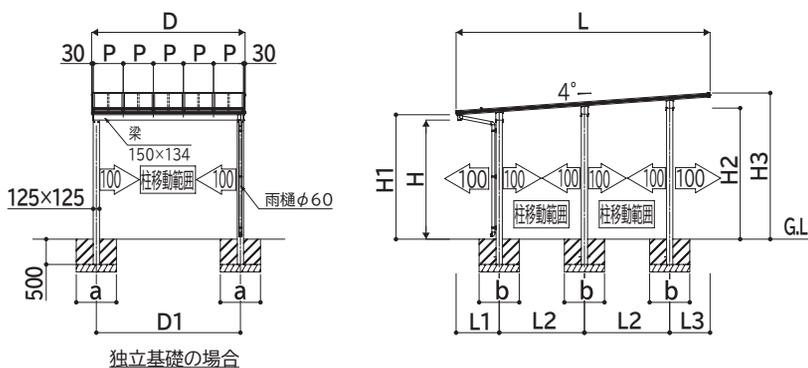
		サイドパネル有無共通								
間口呼称	奥行呼称	独立基礎			土間コンクリート考慮基礎			土間同時施工基礎		
		地耐力(kN/m <sup>2</sup> )			地耐力(kN/m <sup>2</sup> )			地耐力(kN/m <sup>2</sup> )		
		30	50	100	30	50	100	30	50	100
78	51	1120	1030	720	720	720	720	890	870	870
	54	1150	1060	740	740	740	740	930	910	910
	57	1180	1100	770	770	770	770	970	950	950

■土間同時施工基礎アンカー本数表

間口 奥行呼称	アンカー 本数
全サイズ	4

・柱1本あたり

# アーバンルーフII レギュラースترونクタイプ 100



■高さ寸法表

間口呼称	奥行呼称	高さ呼称	H	H1	H2	H3
30	51	24	2355	2461	2593	2892
	54			2463	2621	2918
	57			2457	2635	2938

・H=2500(H=2800)の場合、  
H,H1,H2,H3は145(445)足した寸法にしてください。

■間口-奥行寸法表

間口呼称	奥行呼称	D	D1	L	L1	L2	L3	P
30	51	3060	2873	5065	859	1700	806	600
	54			5413	833	1900	780	
	57			5781	917	2000	864	

■基礎寸法表

		サイドパネル無								
間口呼称	奥行呼称	独立基礎			土間コンクリート考慮基礎			土間同時施工基礎		
		地耐力(kN/m <sup>2</sup> )			地耐力(kN/m <sup>2</sup> )			地耐力(kN/m <sup>2</sup> )		
		30	50	100	30	50	100	30	50	100
30	51	580	400	380	580	400	380	550	400	380
	54	610	420	390	610	420	390	580	420	380
	57	630	440	400	630	440	400	590	430	380

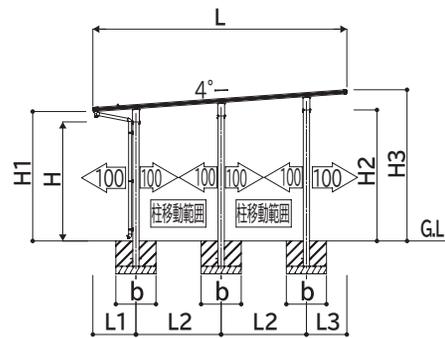
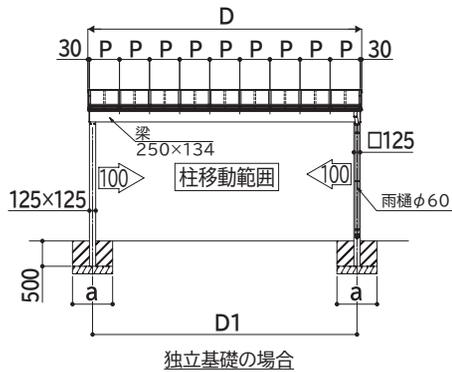
		サイドパネル有								
間口呼称	奥行呼称	独立基礎			土間コンクリート考慮基礎			土間同時施工基礎		
		地耐力(kN/m <sup>2</sup> )			地耐力(kN/m <sup>2</sup> )			地耐力(kN/m <sup>2</sup> )		
		30	50	100	30	50	100	30	50	100
30	51	640	520	380	580	400	380	550	400	380
	54	670	560	390	610	420	390	580	420	380
	57	690	580	400	630	440	400	590	430	380

■土間同時施工基礎アンカー本数表

間口 奥行呼称	アンカー 本数
全サイズ	2

・柱1本あたり

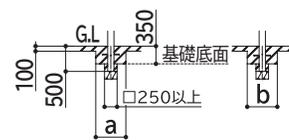
# アーバンルーフⅡ ワイドストロングタイプ 100



■高さ寸法表

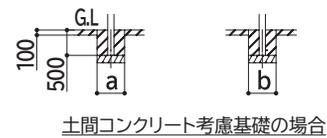
間口呼称	奥行呼称	高さ呼称	H	H1	H2	H3
全サイズ	51	24	2355	2561	2593	2992
	54			2563	2621	3018
	57			2557	2635	3038

・H=2500(H=2800)の場合、  
H,H1,H2,H3は145(445)足した寸法にしてください。



■間口-奥行寸法表

間口呼称	奥行呼称	D	D1	L	L1	L2	L3	P
48	51	4860	4673	5065	859	1700	806	600
	54			5413	833	1900	780	
	57			5781	917	2000	864	
54	51	5460	5273	5065	859	1700	806	
	54			5413	833	1900	780	
	57			5781	917	2000	864	
60	51	6060	5873	5065	859	1700	806	
	54			5413	833	1900	780	
	57			5781	917	2000	864	



■基礎寸法表

		サイドパネル無								
間口呼称	奥行呼称	独立基礎			土間コンクリート考慮基礎			土間同時施工基礎		
		地耐力(kN/㎡)			地耐力(kN/㎡)			地耐力(kN/㎡)		
		30	50	100	30	50	100	30	50	100
48	51	730	520	460	730	510	460	690	500	480
	54	770	540	490	770	530	490	730	520	510
	57	790	560	500	790	550	500	740	540	530
54	51	770	570	490	770	540	490	730	530	520
	54	820	600	520	820	560	520	770	560	560
	57	840	620	530	840	580	530	790	580	580
60	51	810	630	510	810	560	510	770	560	560
	54	860	650	540	860	590	540	810	600	600
	57	880	670	560	880	610	560	830	620	620

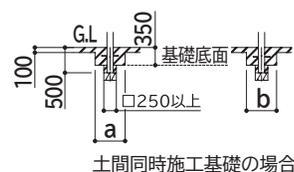
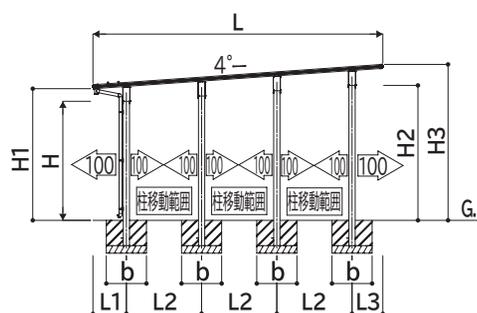
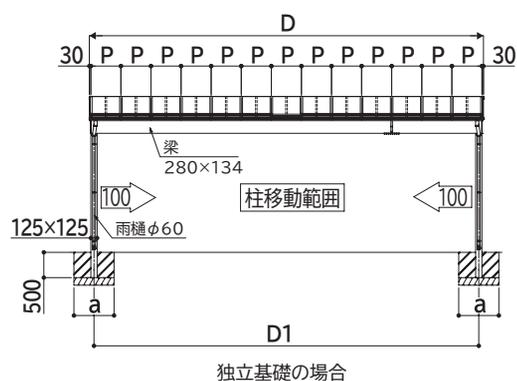
■土間同時施工基礎アンカー本数表

間口 奥行呼称	アンカー 本数
全サイズ	2

・柱1本あたり

		サイドパネル有								
間口呼称	奥行呼称	独立基礎			土間コンクリート考慮基礎			土間同時施工基礎		
		地耐力(kN/㎡)			地耐力(kN/㎡)			地耐力(kN/㎡)		
		30	50	100	30	50	100	30	50	100
48	51	730	560	460	730	510	460	690	500	480
	54	770	600	490	770	530	490	730	520	510
	57	790	620	500	790	550	500	740	540	530
54	51	770	570	490	770	540	490	730	530	520
	54	820	610	520	820	560	520	770	560	560
	57	840	630	530	840	580	530	790	580	580
60	51	810	630	510	810	560	510	770	560	560
	54	860	650	540	860	590	540	810	600	600
	57	880	670	560	880	610	560	830	620	620

# アーバンルーフⅡ ジャンボストロングタイプ 100



■高さ寸法表

間口呼称	奥行呼称	高さ呼称	H	H1	H2	H3
78	51	24	2355	2614	2638	3045
	54			2612	2659	3067
	57			2605	2670	3085

・H=2500(H=2800)の場合、  
H,H1,H2,H3は145(445)足した寸法にしてください。

■間口-奥行寸法表

間口呼称	奥行呼称	D	D1	L	L1	L2	L3	P
78	51	7860	7673	5065	534	1350	481	600
	54			5413	558	1450	505	
	57			5781	667	1500	614	

■基礎寸法表

		サイドパネル有無共通								
間口呼称	奥行呼称	独立基礎			土間コンクリート考慮基礎			土間同時施工基礎		
		地耐力(kN/m <sup>2</sup> )			地耐力(kN/m <sup>2</sup> )			地耐力(kN/m <sup>2</sup> )		
		30	50	100	30	50	100	30	50	100
78	51	820	620	520	820	570	520	790	580	580
	54	850	640	540	850	590	540	810	600	600
	57	870	660	550	870	600	550	820	620	620

■土間同時施工基礎アンカー本数表

間口 奥行呼称	アンカー 本数
全サイズ	2

・柱1本あたり

